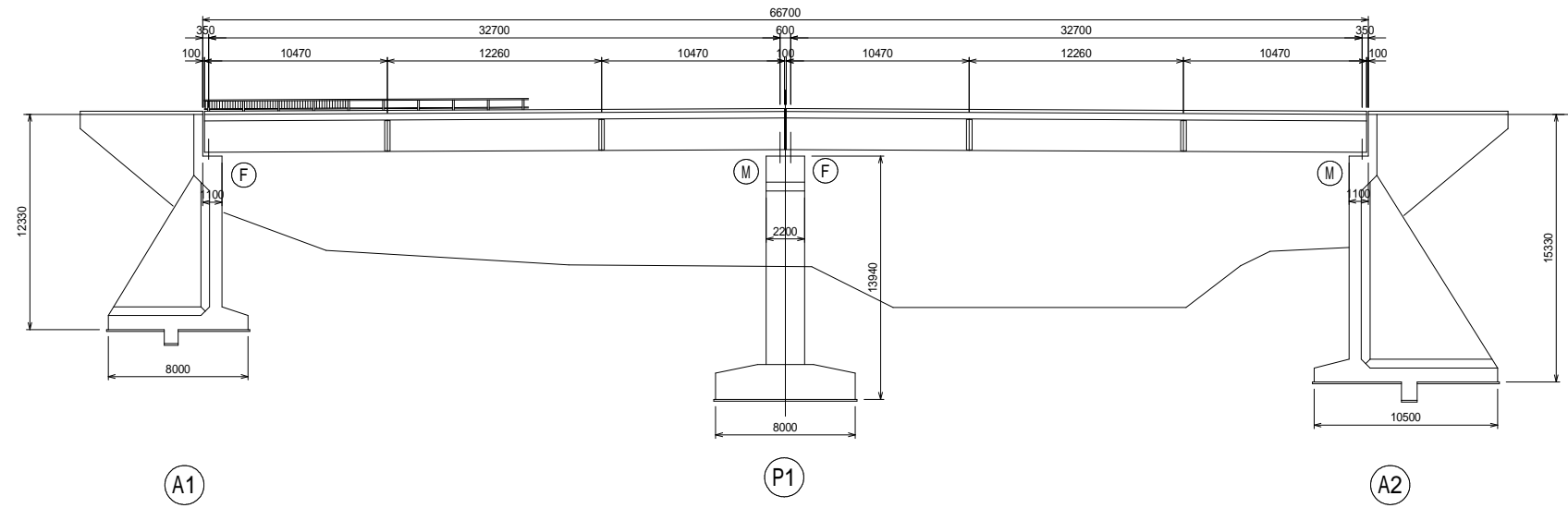
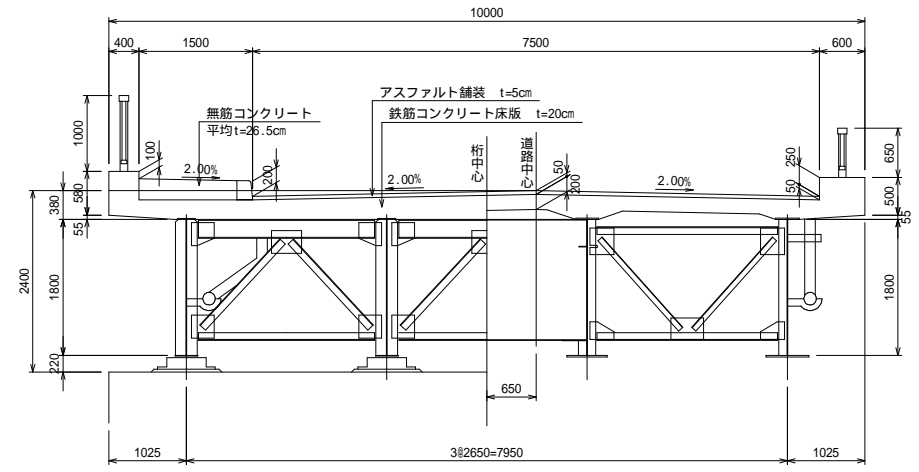


神里橋 全体一般図

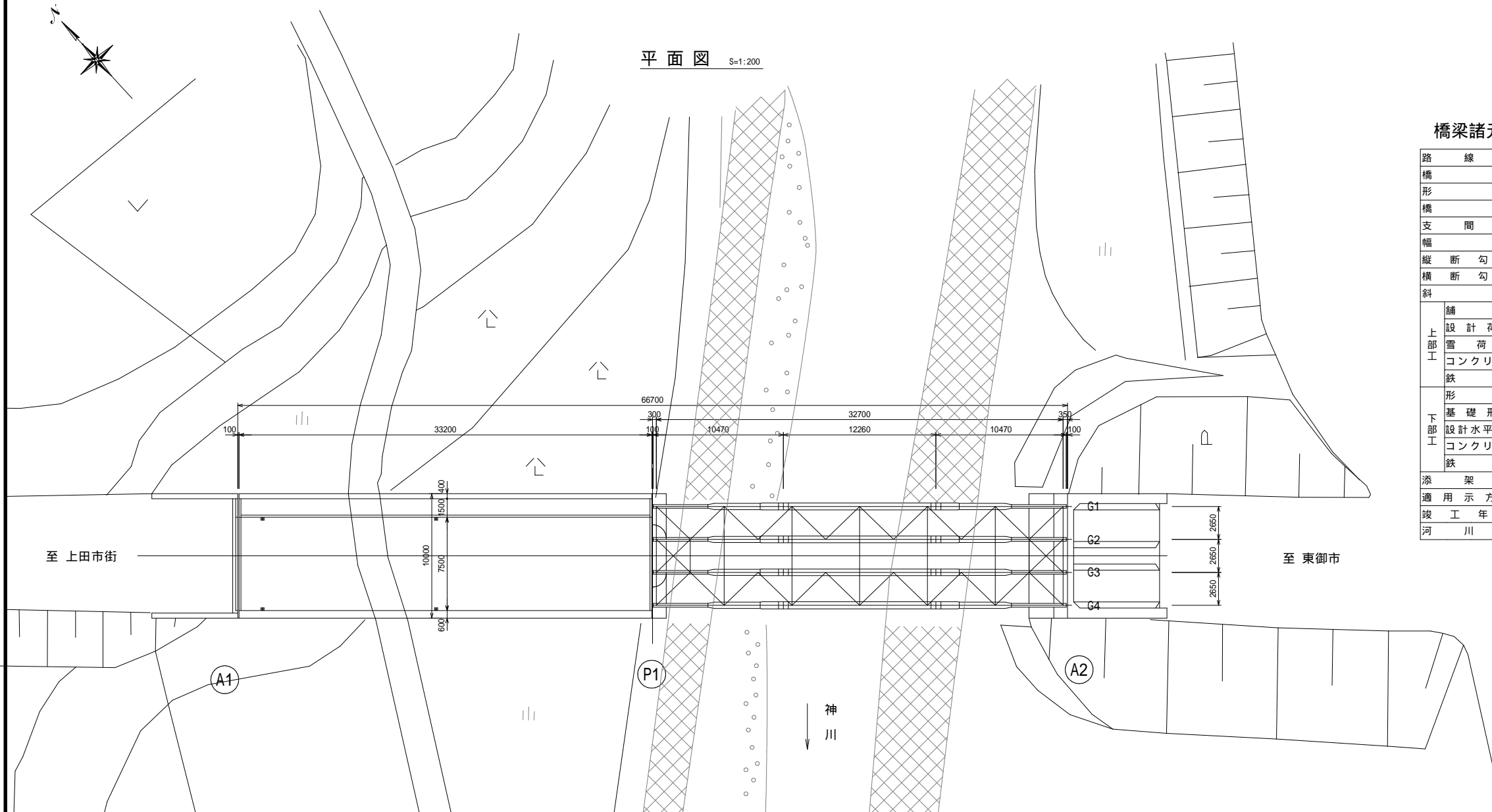
側面図 S=1:200



断面図 S=1:50



平面図 S=1:200



橋梁諸元

路線名	川原柳豊里線
橋格	一等橋
形式	単純活荷重合成鉄桁
橋長	L = 66.700 m
支間長	L = 2@32.700 m
幅員	車道部 W = 7.500 m, 歩道部 W = 1.500 m
縦断勾配	I = 0.5 % 放物線
横断勾配	I = 2.00 %
斜角	= 90 °
舗装	アスファルト舗装 50 mm
設計荷重	TL-20
雪荷重	100 kg/m ²
コンクリート	ck = 300 kg/cm ²
鉄筋	SD30 · sa = 1400 kg/cm ²
形式	橋台：控壁式橋台，橋脚：張出梁小判型橋脚
基礎形式	直接基礎
設計水平震度	Kh=0.2
コンクリート	ck = 210 kg/cm ²
鉄筋	SD295
添架物	無し
適用示方書	昭和47年 道路橋示方書
竣工年月	昭和53年
河川名	一級河川 神川 (河川管理者 長野県)

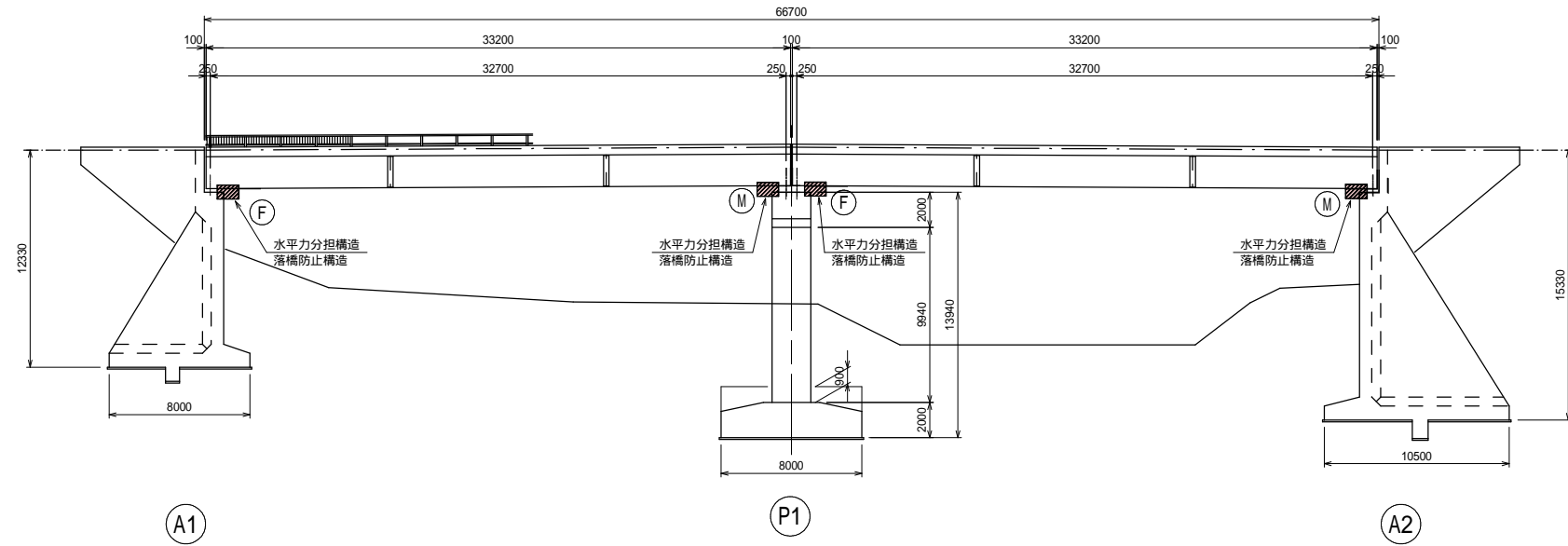
国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
巻号	1/14	全体一般図	縮尺 図示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	照査	設計
上田市			
設計会社	(株)フジ技研	管理技術者	高地 俊樹
測量会社		照査技術者	百瀬 光政
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

神里橋 耐震補強箇所図

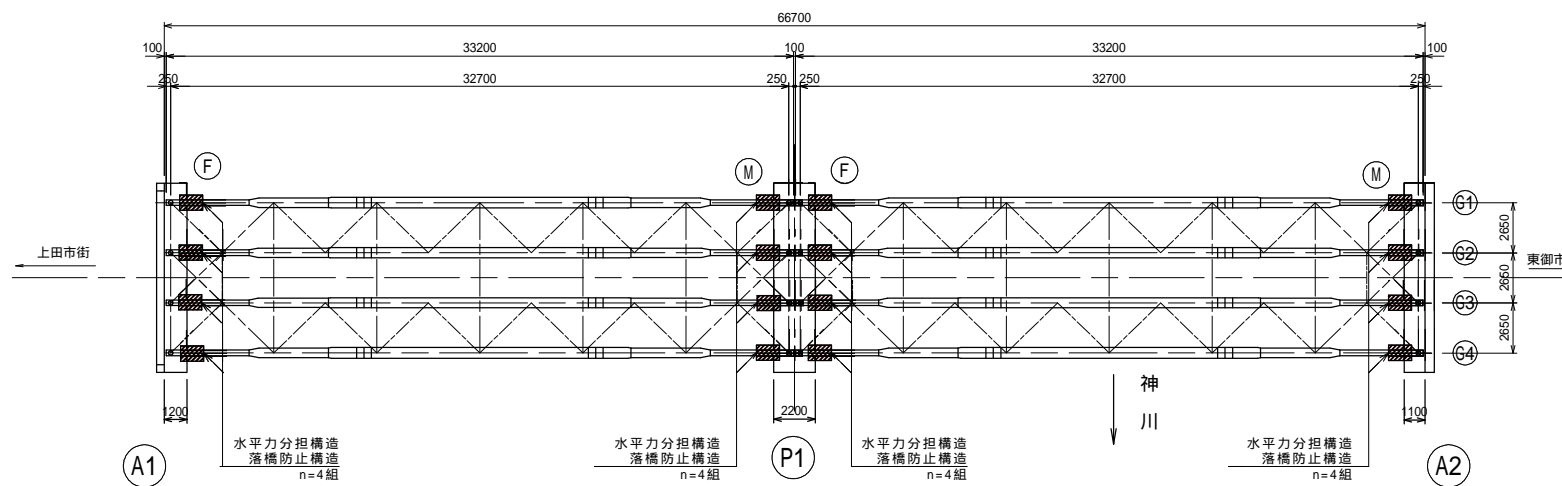
注意事項

- ・水平力分担構造は「SEリミッター(鋼エスイー)」と同等品とする。
- ・落橋防止構造は「F-TD型(鋼エスイー)」と同等品とする。
- ・本設計書の設計図に記載されている構造図は「参考図」とし、受注後は必ず起工測量を行い、寸法等を決定すること。

側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



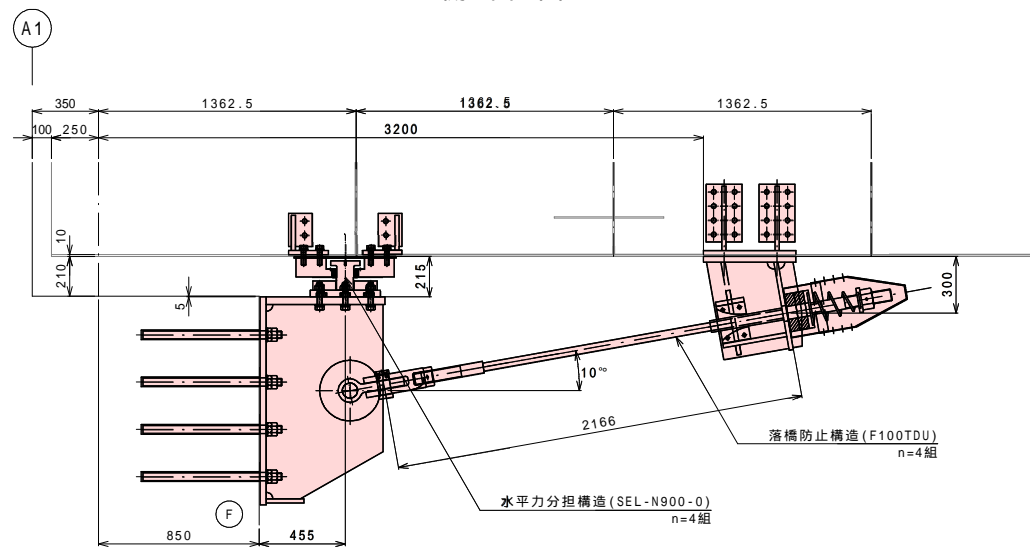
国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番号	2/14	耐震補強箇所図	縮尺 図示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	照査	設計
上 田 市			
設計会社	管理技術者		
	照査技術者		
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		

落橋防止システム図(その1)(参考図)

S=1:20

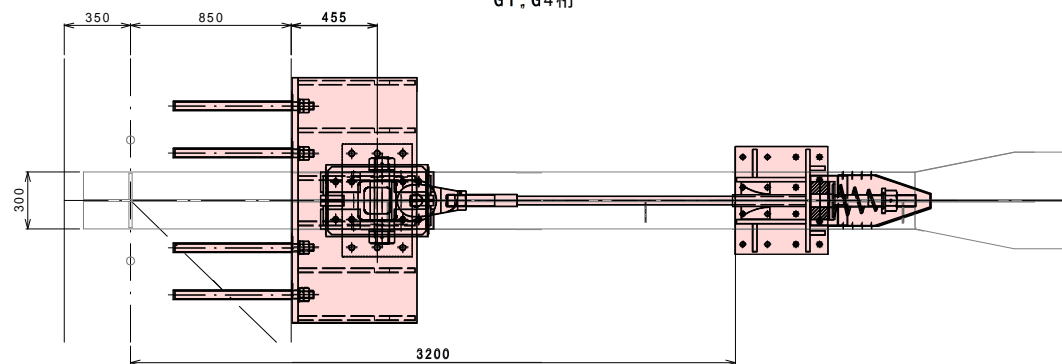
A1橋台:取付図

側面図

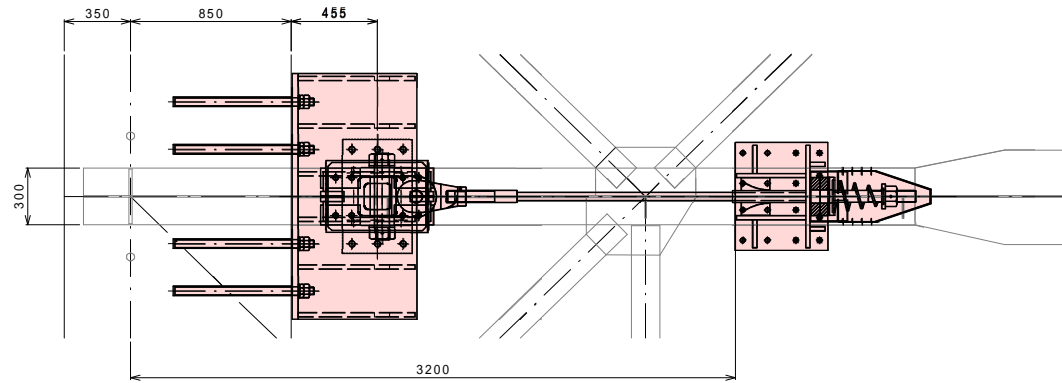


平面図

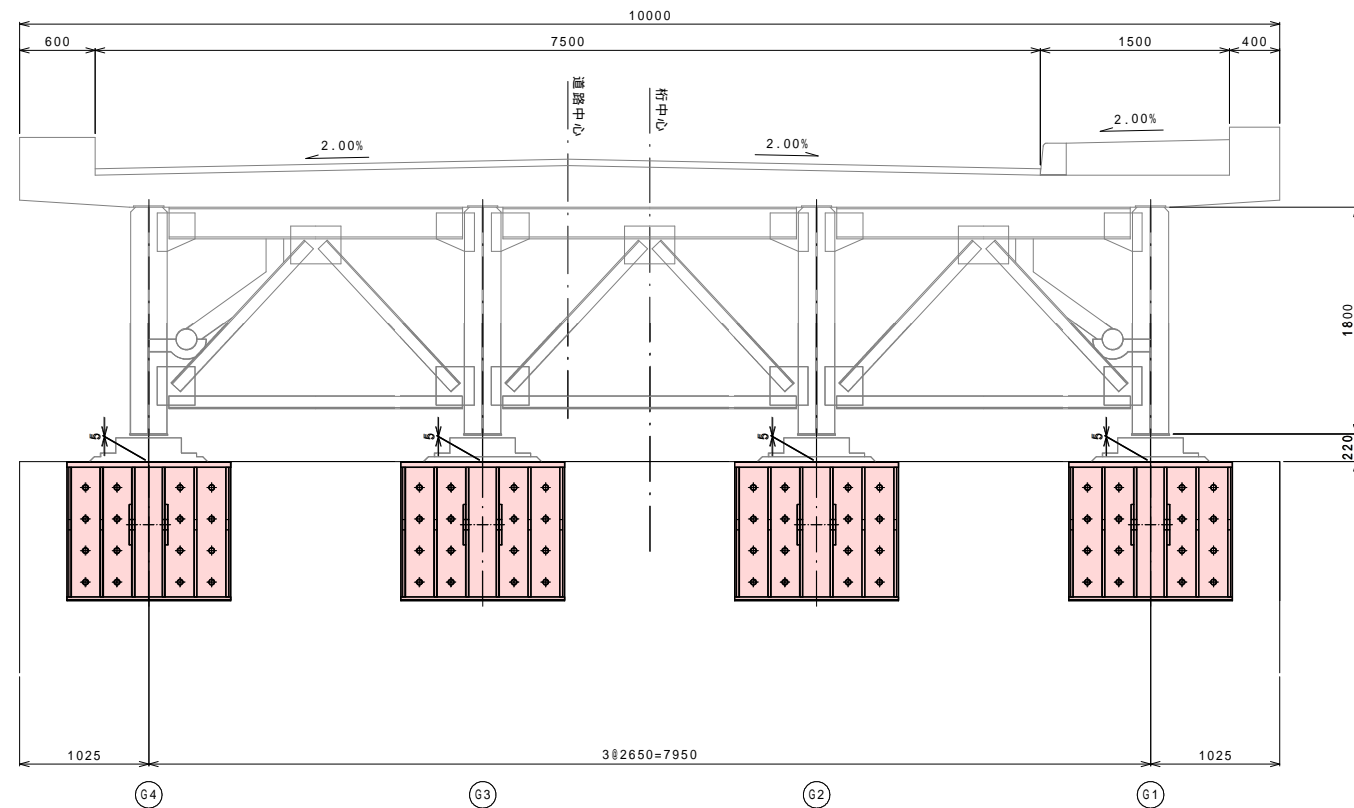
G1, G4桁



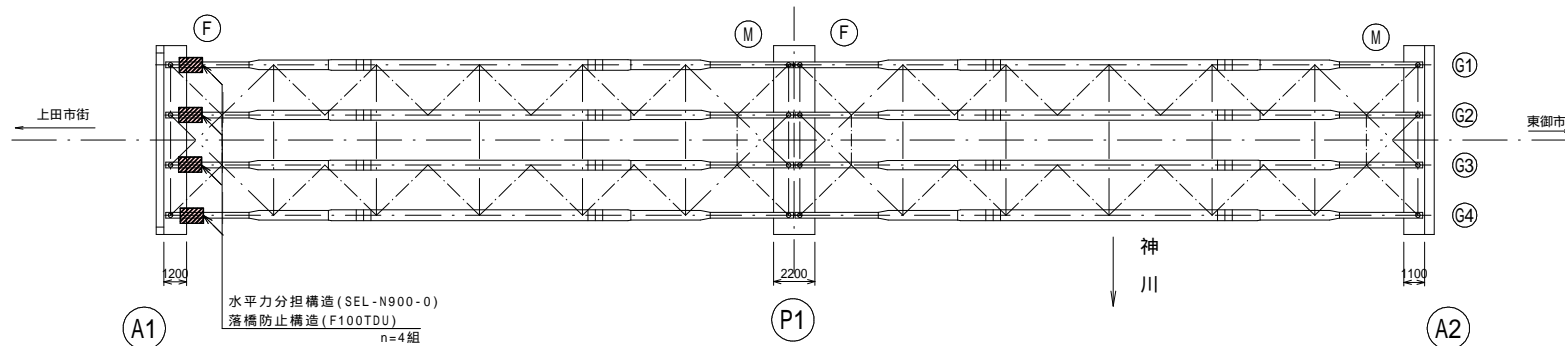
G2, G3桁



断面図 S=1:30



配置図



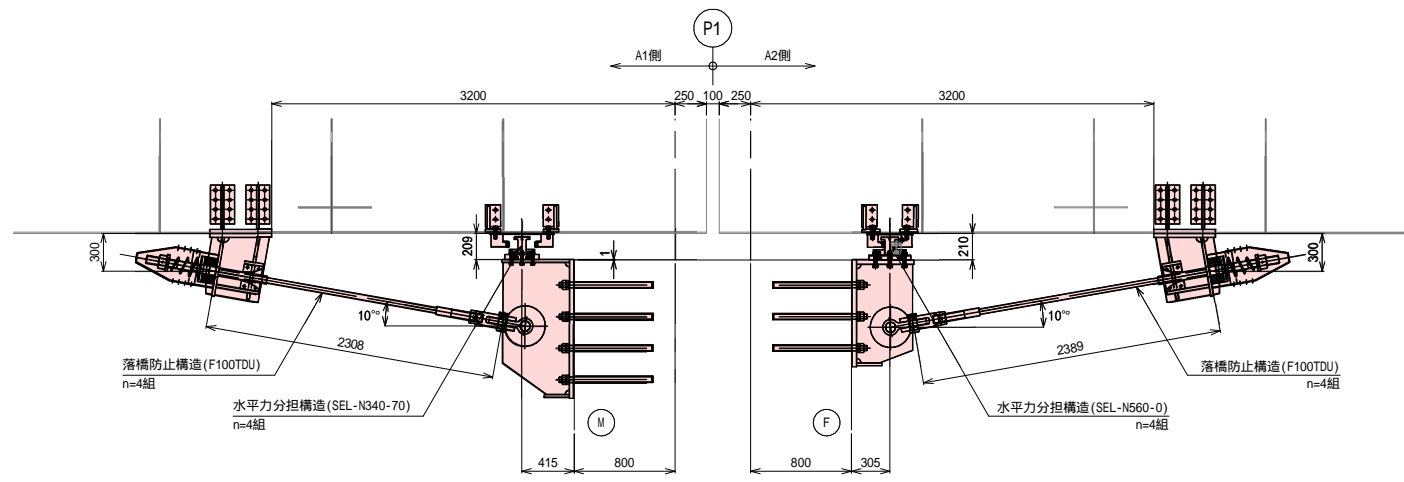
国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番号	3/14	落橋防止システム図(その1)(参考図)	縮尺 図示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	照査	設計
上田市			
設計会社	管理技術者		
	照査技術者		
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		

落橋防止システム図(その2)(参考図)

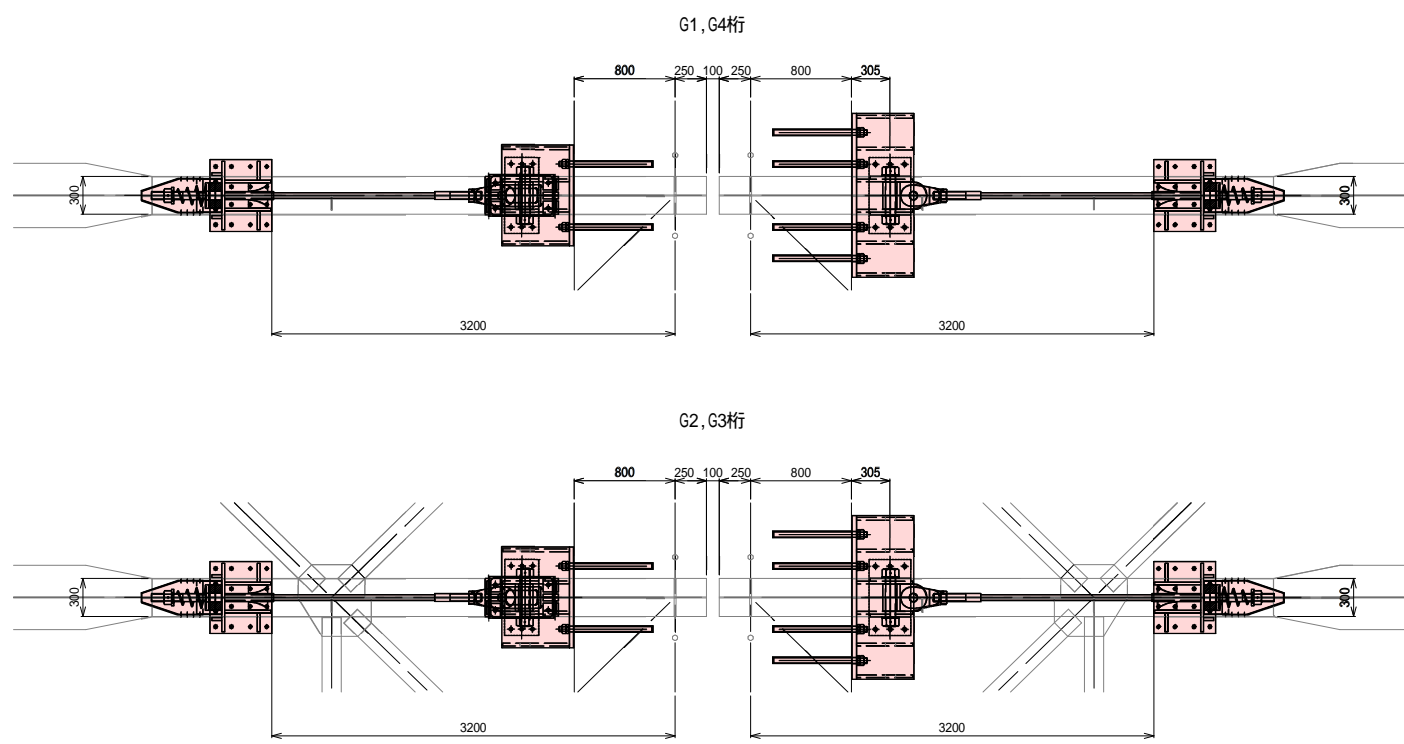
S=1:30

P1橋脚:取付図

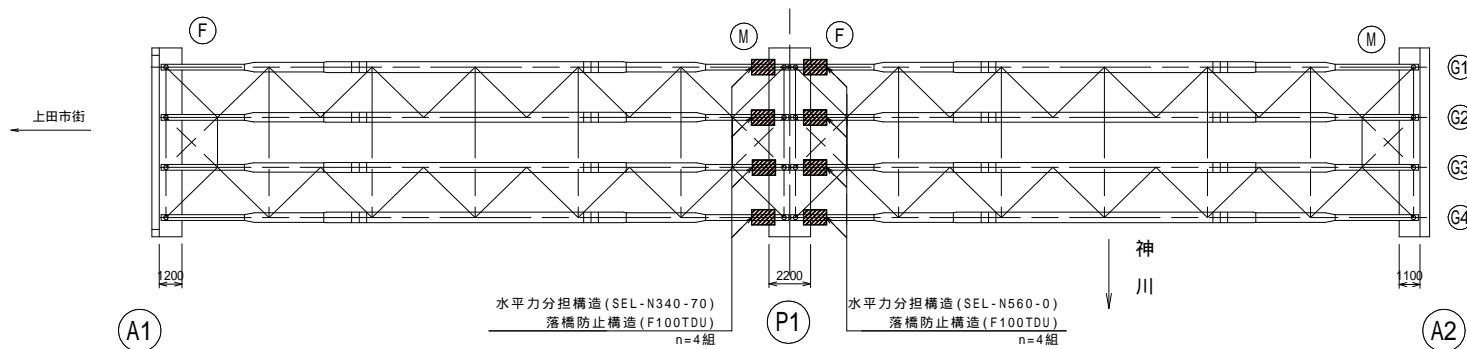
側面図



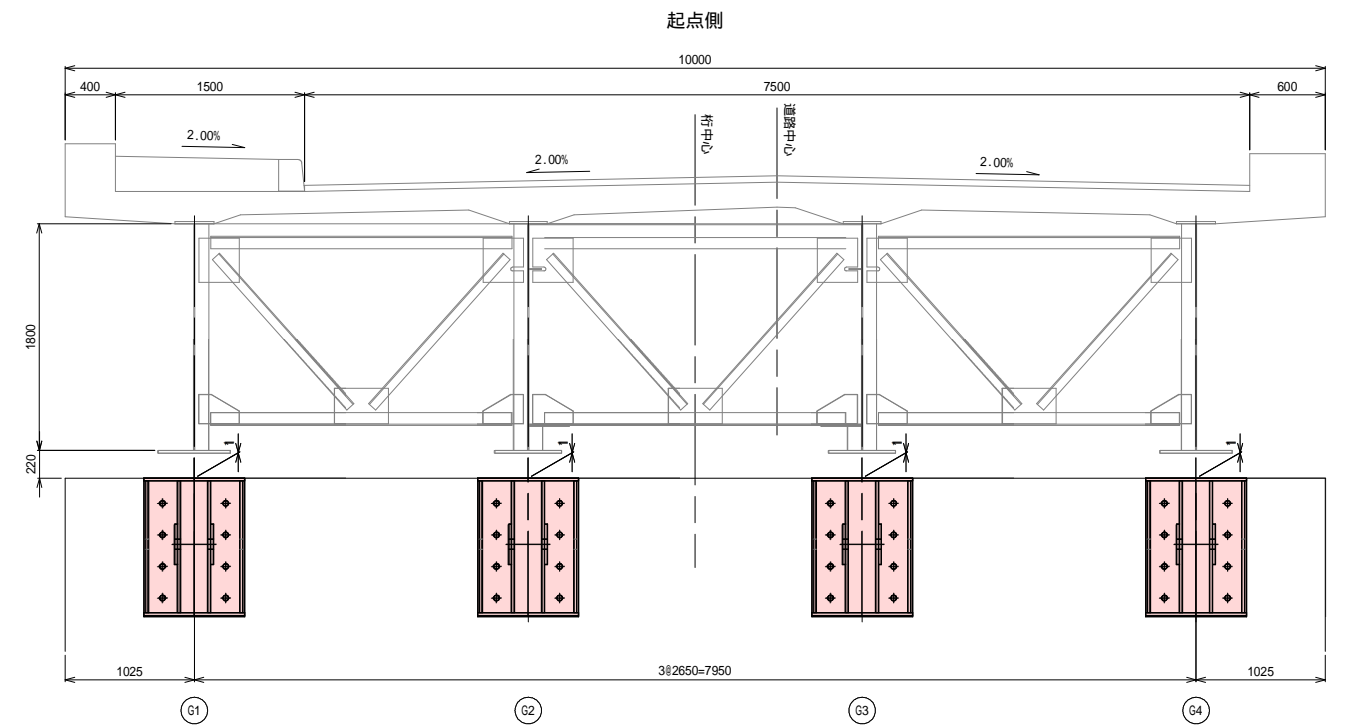
平面図



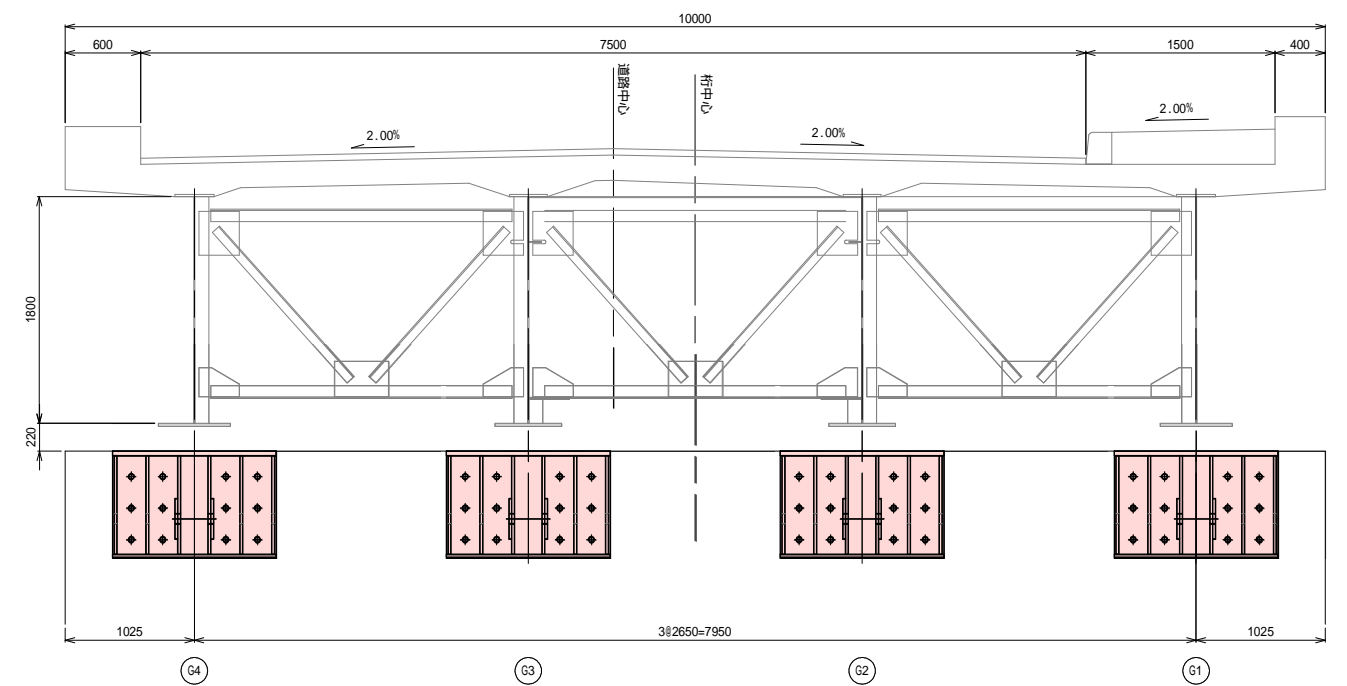
配置図



断面図



終点側



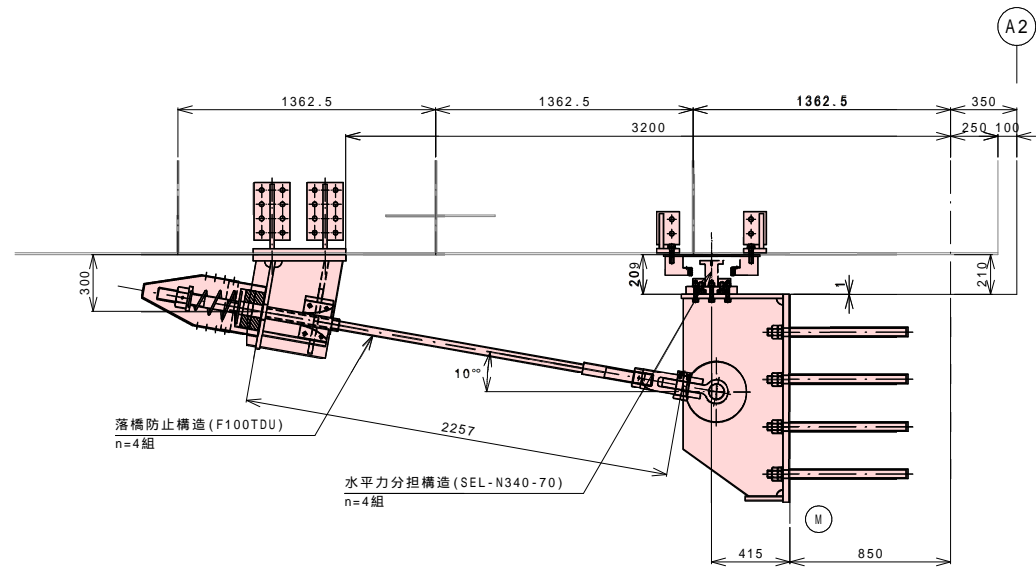
国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番	4 / 14	落橋防止システム図 (その2)(参考図)	図示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	照査	設計
上田市			
設計会社	管理技術者		
	照査技術者		
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		

落橋防止システム図(その3)(参考図)

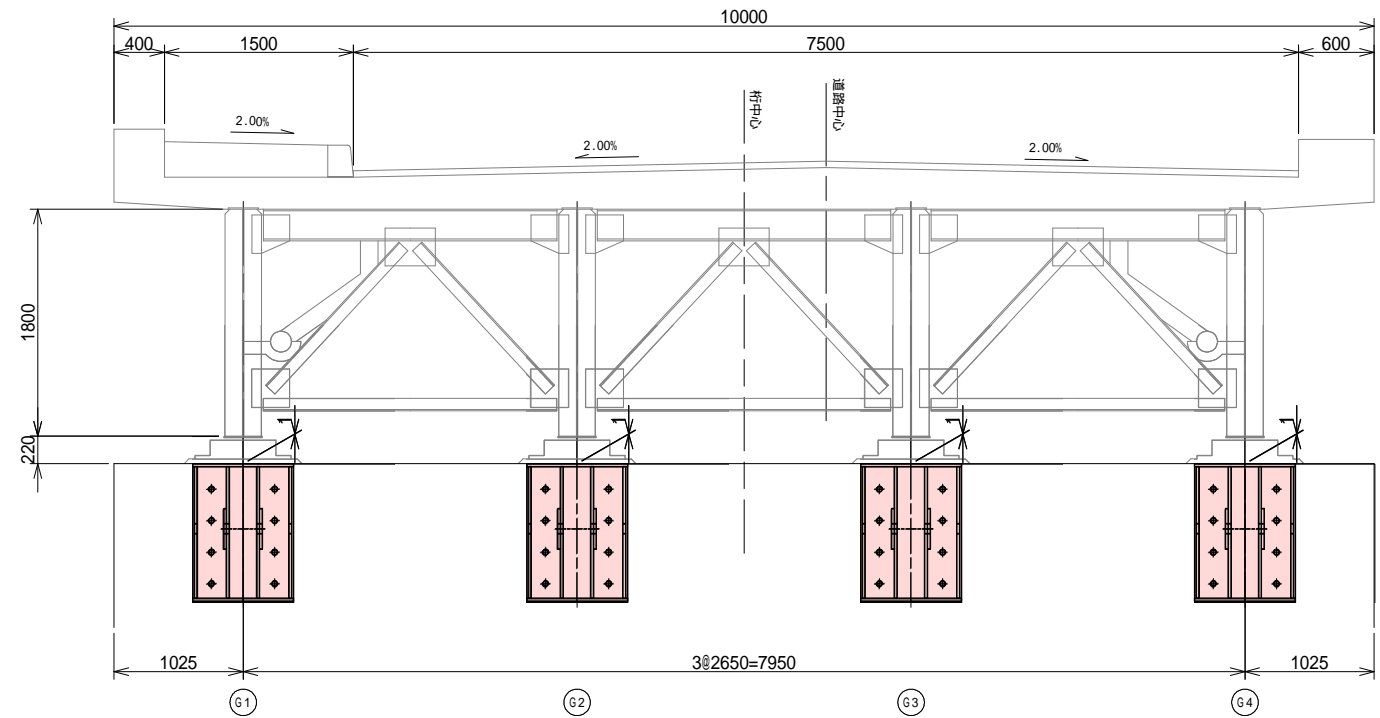
S=1:20

A2橋台:取付図

側面図

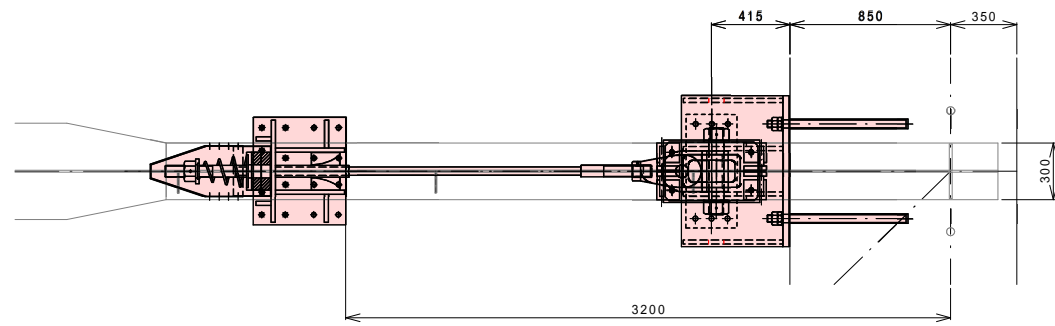


断面図 S=1:30

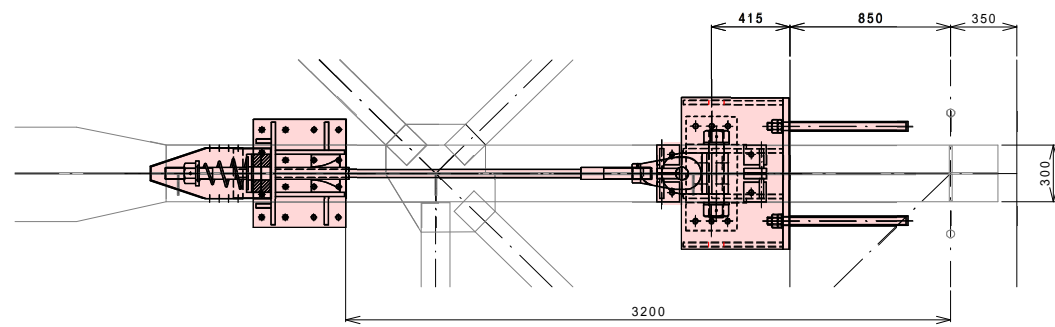


平面図

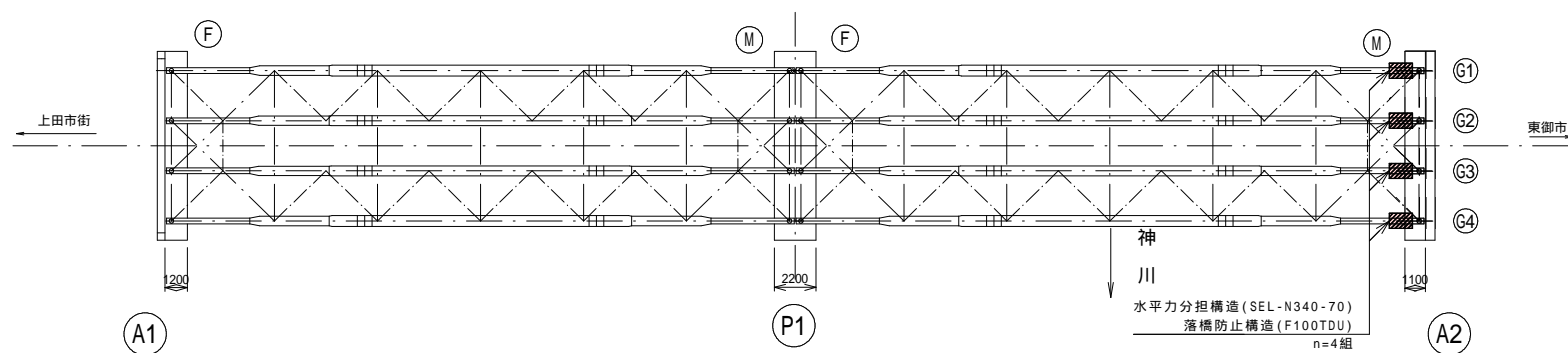
G1, G4桁



G2, G3桁



配置図



国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番	5 / 14	落橋防止システム図 (その3)(参考図)	縮尺 図示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	照査	設計
上田市			
設計会社	管理技術者		
	照査技術者		
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		

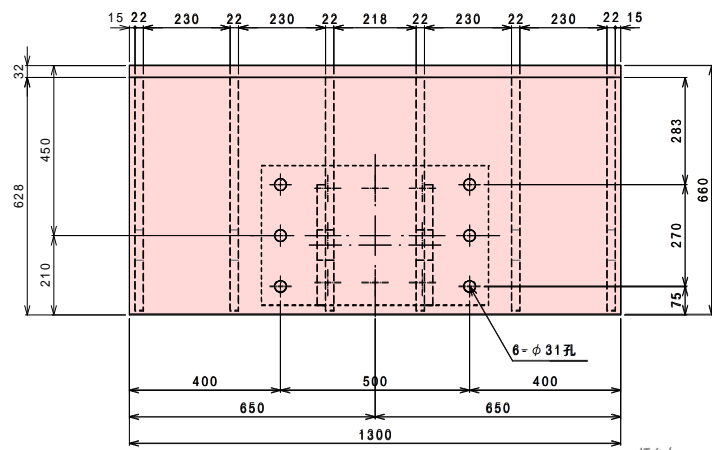
落橋防止システム図(その4)(参考図)

S=1:10

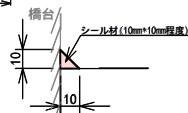
A1橋台:水平力分担構造 取付金物詳細図

下部エブラケット詳細図

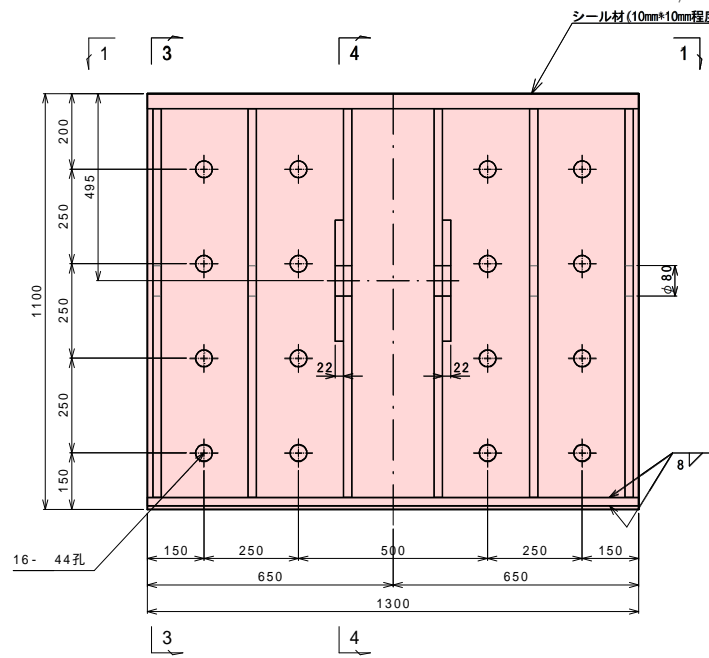
1 - 1



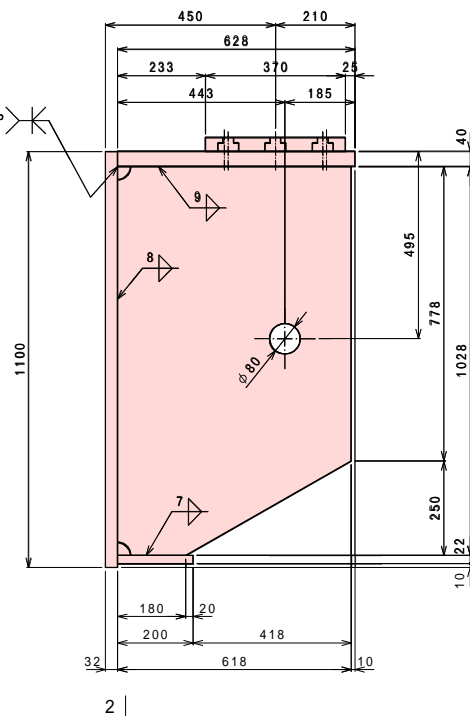
- 1-PL 1100x32x1300
 1-PL 628x40x1300 (SM400B)
 1-PL 200x22x1300
 6-PL 618x22x1028
 2-PL 320x22x320



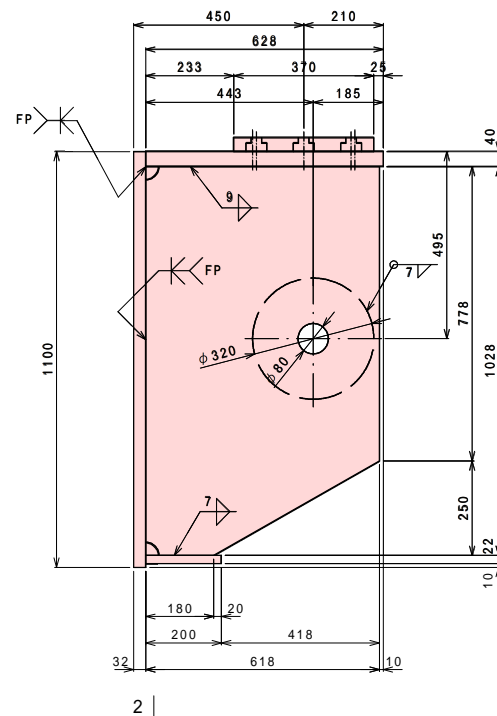
2 - 2



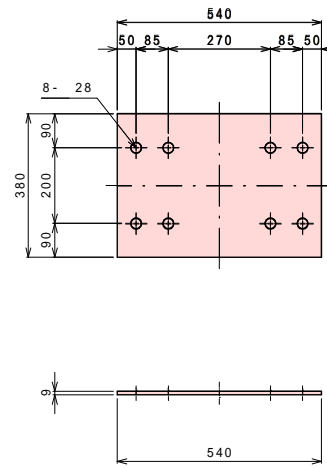
3 - 3



4 - 4

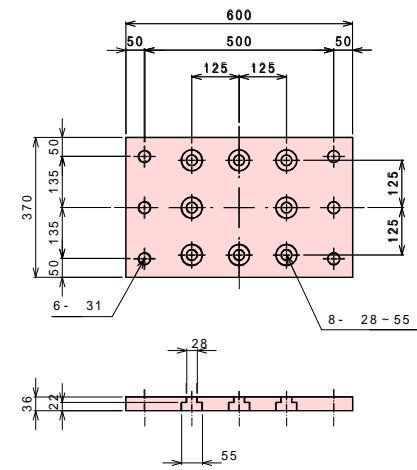


上部工取付プレート



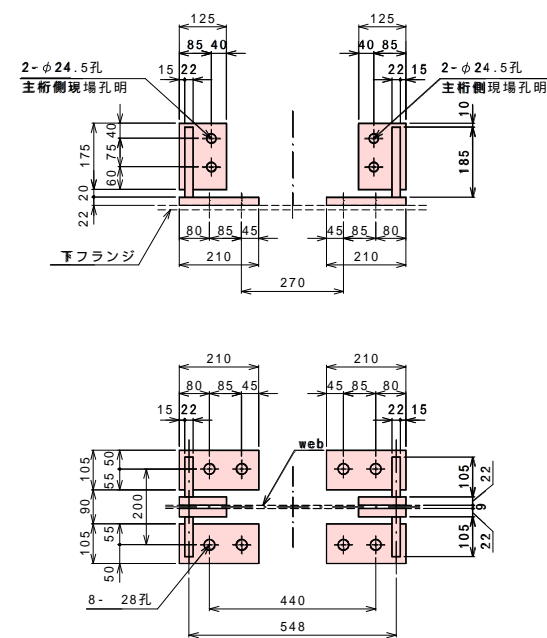
- 1-PL 380x9x540 (SS400)

下部工取付プレート



- 1-PL 370x36x600 (SS400)
 6-六角Bolt M27x130 (強度区分8.8)
 [1-N, 2-W, 1SW]

主桁補強材



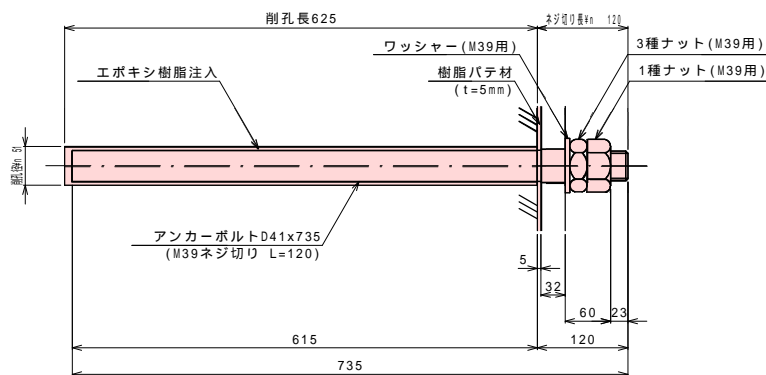
- 4-PL 210x22x105
 4-PL 105x22x185
 4-PL 125x22x175
 4-TCB M22x90 (S10T)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 主桁補強材以外の部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
 亜鉛の付着量はJIS H 8641 HD255とする。
 但し、ボルト・ナット類はHD235とする。
4. 主桁補強材は、主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
6. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
 また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

アンカーボルト詳細図

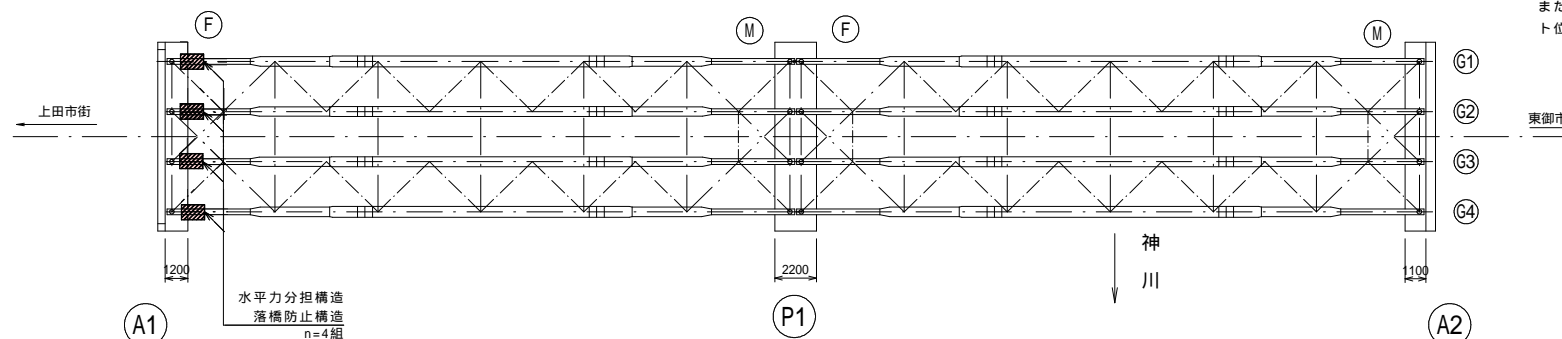
S=1:5



- 16-AncBolt D41x735 (SD345)
 16-1種Nut M39用 (SS400)
 16-3種Nut M39用 (SS400)
 16-Washer M39用 (SS400)

アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

配置図



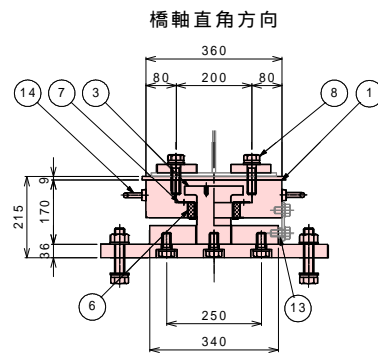
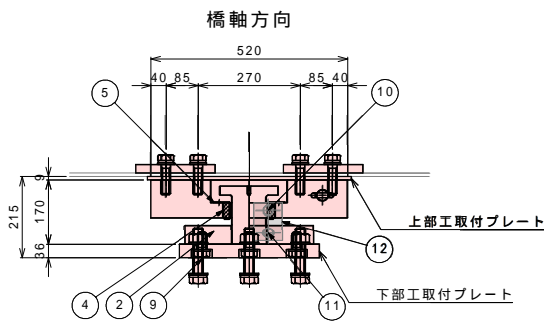
国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番	6/14	落橋防止システム図 (その4)(参考図)	縮尺 図示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	監査	設計
上田市			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

落橋防止システム図(その5)(参考図)

A1橋台: 水平力分担構造 取付詳細図及び部品図

S=1:10

取付詳細図

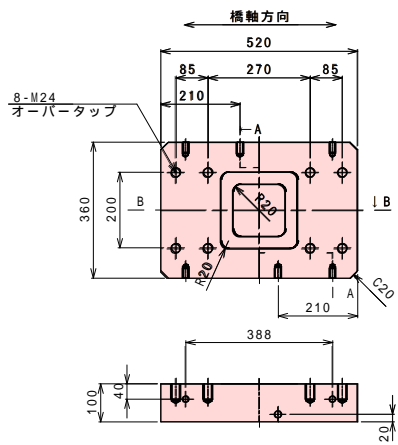


材 料 表 (SEリミッター1基当たり)

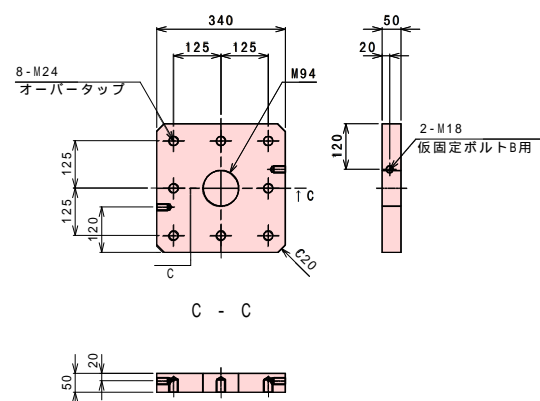
全4基

部番	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
1	ソールプレート	SEL-N900-0	個	1	SM490A;垂鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N900用	個	1	SM490A;垂鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N900用	本	1	SCM435;ダクロライズ処理,DMコート
4	バッファ-A	SEL-N900用	個	2	クロロレンゴム
5	バッファ-ガイドA	SEL-N900用	個	2	SUS
6	バッファ-B	SEL-N900用	個	2	クロロレンゴム
7	バッファ-ガイドB	SEL-N900用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M24x90 1W,1SW付	組	8	強度区分8.8;垂鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)	M24x50 1W付	組	8	強度区分8.8;垂鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					
10	仮固定ボルトA	M18x30 1W付	組	2	SS400相当品;電気めっき
11	仮固定ボルトB	M18x40 1W付	組	2	SS400相当品;電気めっき
12	仮固定プレート	SEL-N900用	個	2	SS400;電気めっき
13	スペーサー	SEL-N900用	個	2	SGP20A;溶融垂鉛めっき
14	アイボルト	M16	個	4	SS400相当品;垂鉛めっき(HDZ35)

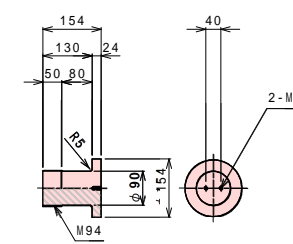
① ソールプレート
(SM490A:垂鉛アルミ溶射処理)



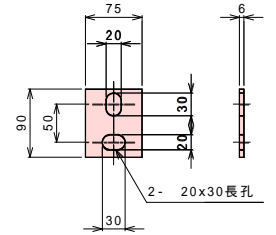
② リミットピンプレート
(SM490A:垂鉛アルミ溶射処理)



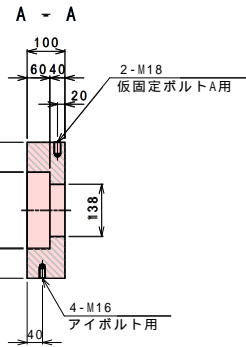
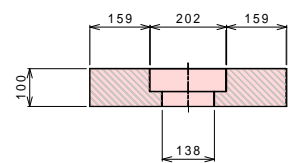
③ リミットピン
(SCM435:DMコート)



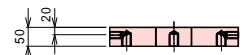
⑫ 仮固定プレート
(SS400:電気めっき) S=1:5



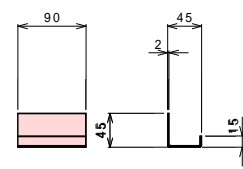
B - B



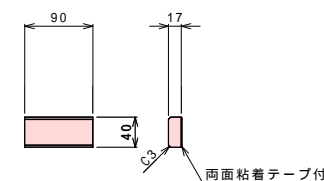
C - C



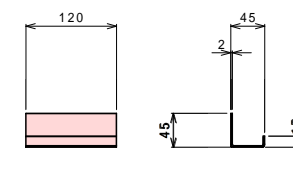
⑤ バッファ-ガイドA
(SUS) S=1:5



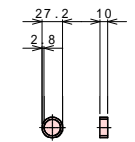
⑥ バッファ-B
(クロロレンゴム) S=1:5



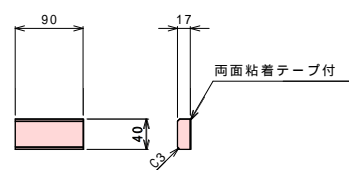
⑦ バッファ-ガイドB
(SUS) S=1:5



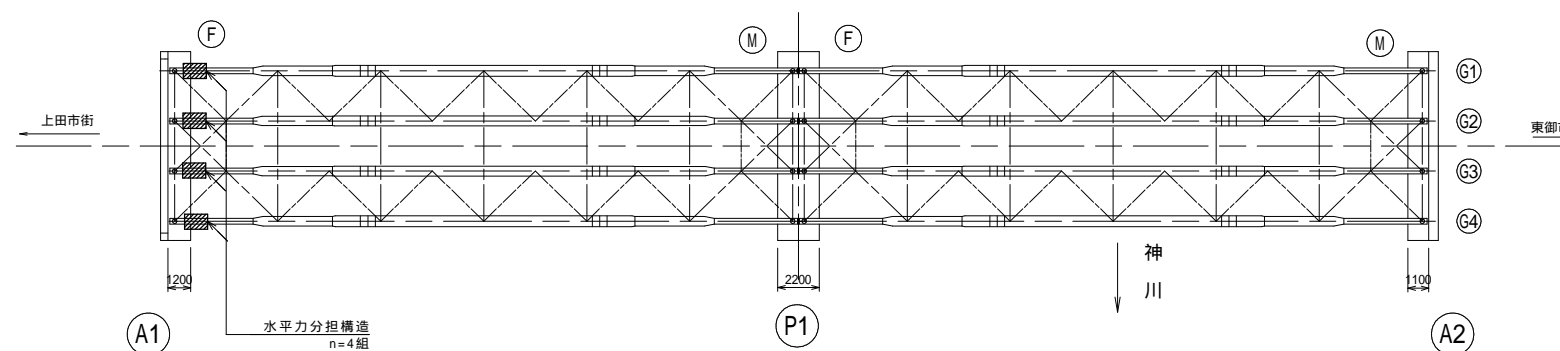
⑬ スペーサー
(SGP20A:溶融垂鉛めっき) S=1:5



④ バッファ-A
(クロロレンゴム) S=1:5



配置図



注記

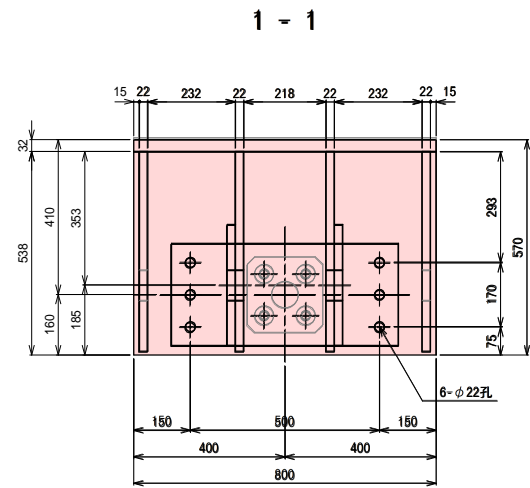
- SEリミッターの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
- 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
- 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。

国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番 号	7 / 14	落橋防止システム図 (その5)(参考図)	図 示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課 長	係 長	照 査	設 計
上 田 市			
設計会社	管理技術者		
	照査技術者		
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		

落橋防止システム図(その6)(参考図) S=1:10

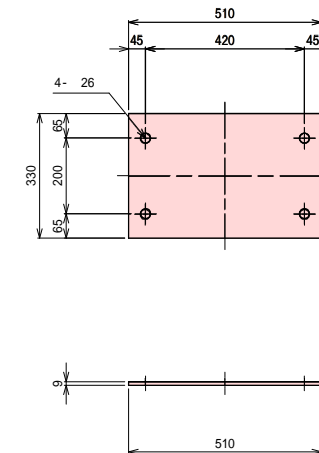
P1橋脚(起点側), A2橋台:水平力分担構造 取付金物詳細図

下部工ブラケット詳細図



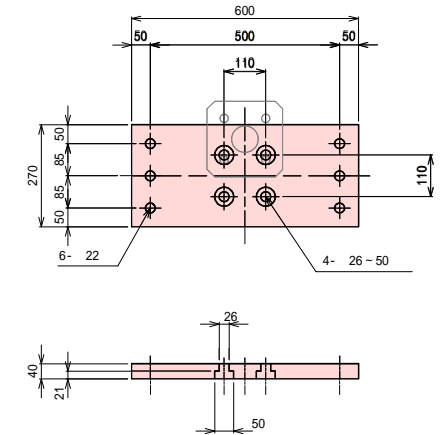
ブラケット1基当り (製作数:8基)
 1-PL 1100x32x800
 1-PL 538x22x800(SM490A)
 1-PL 200x22x800
 4-PL 528x22x1046
 2-PL 320x22x320

上部工取付プレート



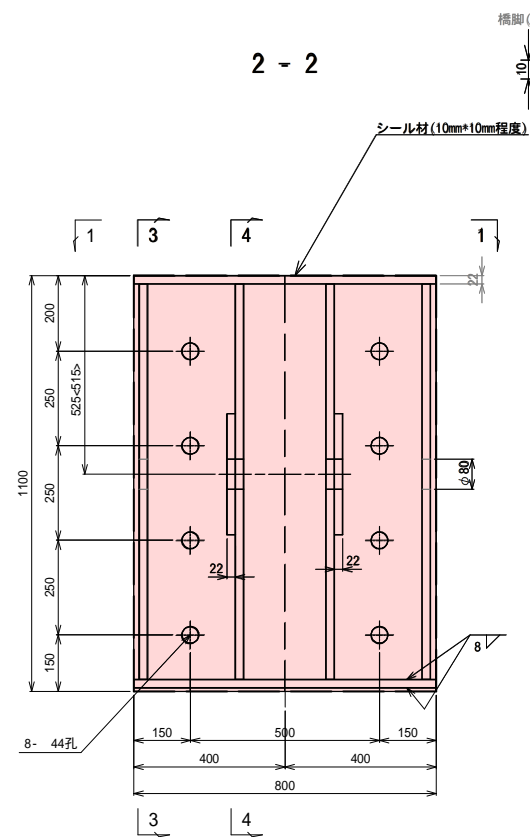
ブラケット1基当り (製作数:8基)
 1-PL 330x9x510 (SS400)

下部工取付プレート

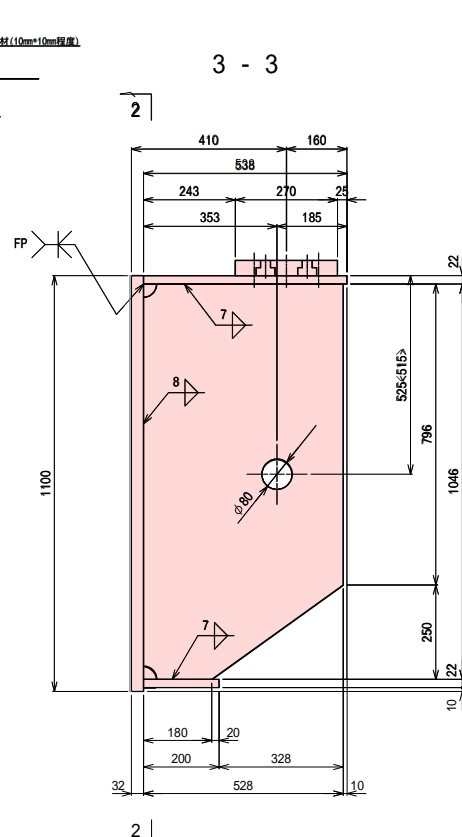


ブラケット1基当り (製作数:8基)
 1-PL 270x40x600(SM490B)
 6-六角Bolt M18x100 (強度区分8.8)
 [1-N, 2-W, 1SW]

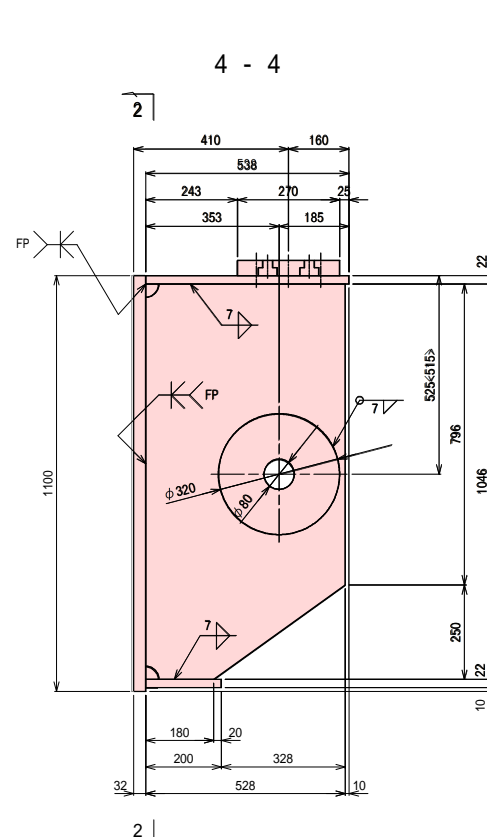
2-2



3-3

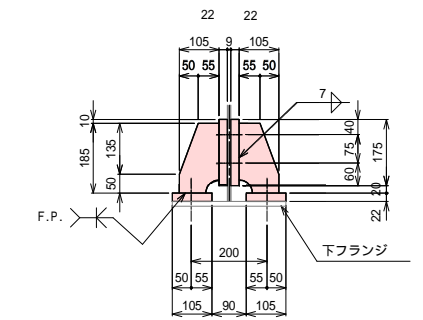
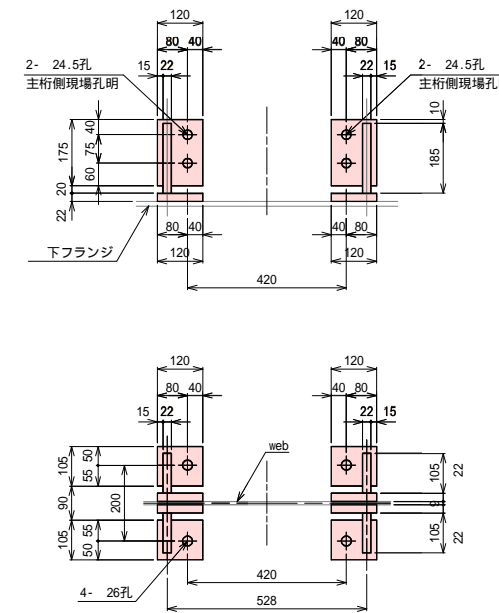


4-4



<-内は、A2橋台における値を示す。

主桁補強材

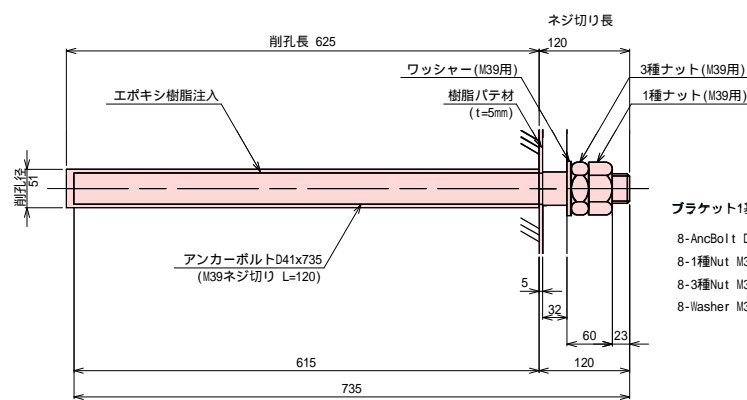


ブラケット1基当り (製作数:8基)
 4-PL 120x22x105
 4-PL 105x22x185
 4-PL 120x22x175
 4-TCB M22x90(S10T)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
3. 主桁補強材以外の部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. 主桁補強材は、主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
6. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

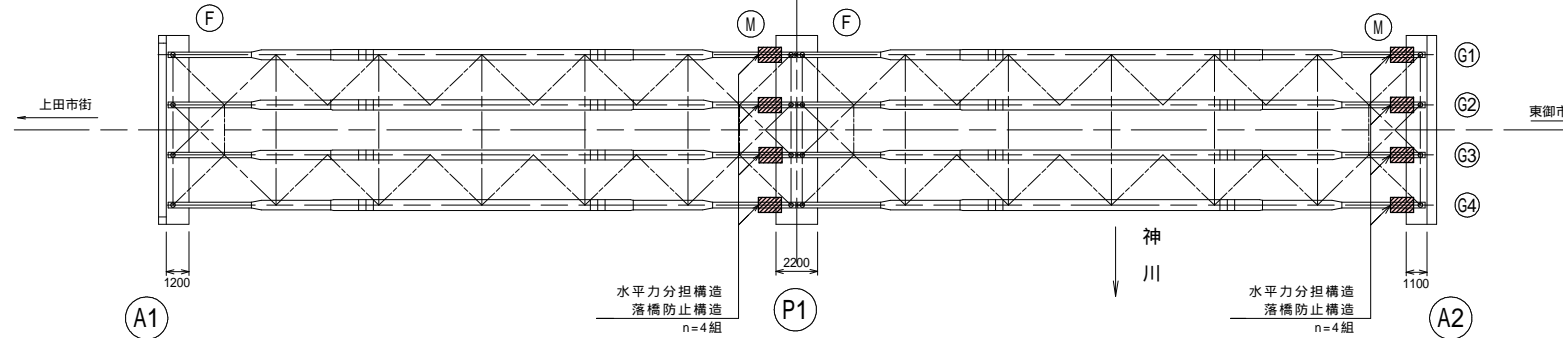
アンカーボルト詳細図 S=1:5



ブラケット1基当り (製作数:8基)
 8-AncBolt D41x735 (SD345)
 8-1種Nut M39用 (SS400)
 8-3種Nut M39用 (SS400)
 8-Washer M39用 (SS400)

アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

配置図



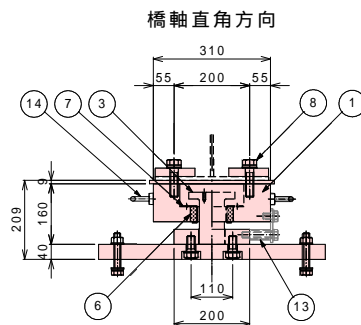
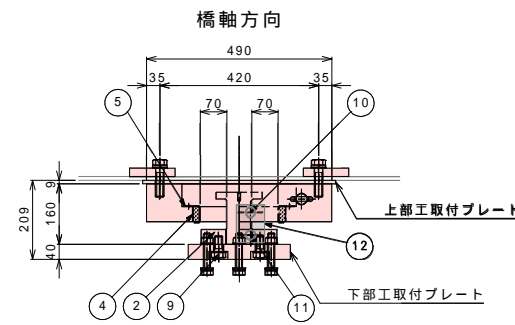
国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番	8/14	落橋防止システム図(その6)(参考図)	図 示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	照査	設計
上田市			
設計会社	管理技術者		
	照査技術者		
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		

落橋防止システム図(その7)(参考図)

P1橋脚(起点側), A2橋台: 水平力分担構造 取付詳細図及び部品図

S=1:10

取付詳細図

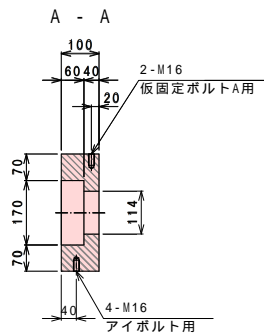
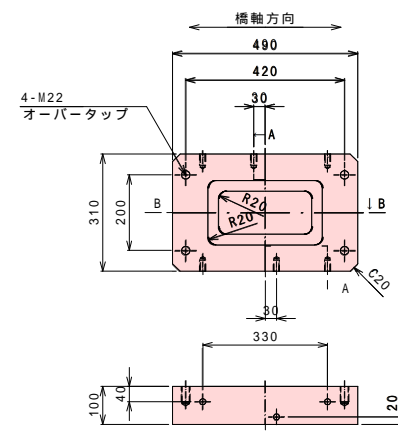


材 料 表 (SEリミッター1基当たり)

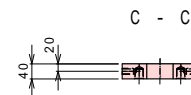
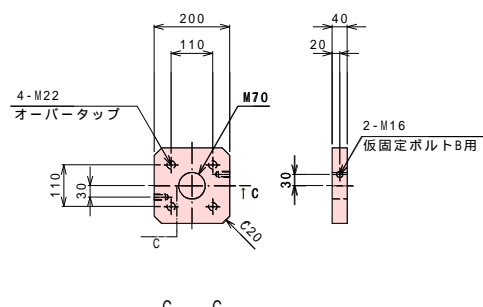
全8基(4基/箇所)

部番	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
1	ソールプレート	SEL-N340-70	個	1	SM490A;亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N340用	個	1	SM490A;亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N340用	本	1	SCM435;ダクロタイズ処理,DMコート
4	バッファ-A	SEL-N340用	個	2	クロロレンゴム
5	バッファ-ガイドA	SEL-N340用	個	2	SUS
6	バッファ-B	SEL-N340用	個	2	クロロレンゴム
7	バッファ-ガイドB	SEL-N340用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M22x85 1W,1SW付	組	4	強度区分8.8;亜鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)	M22x45 1W付	組	4	強度区分8.8;亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					
10	仮固定ボルトA	M16x30 1W付	組	2	SS400相当品;電気めっき
11	仮固定ボルトB	M16x85 1W付	組	2	SS400相当品;電気めっき
12	仮固定プレート	SEL-N340用	個	2	SS400;電気めっき
13	スペーサー	SEL-N340用	個	2	SGP20A;溶融亜鉛めっき
14	アイボルト	M16	個	4	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZ35)

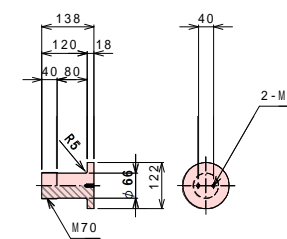
① ソールプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



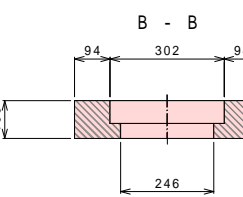
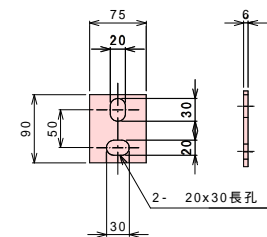
② リミットピンプレート
(SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



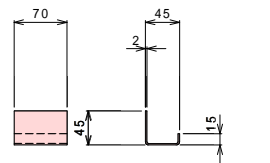
③ リミットピン
(SCM435:DMコート)



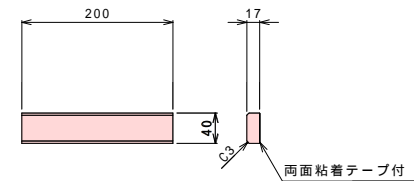
⑫ 仮固定プレート
(SS400:電気めっき)



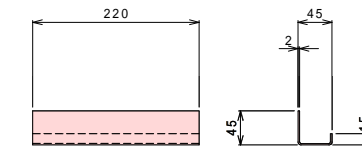
⑤ バッファ-ガイドA
(SUS)



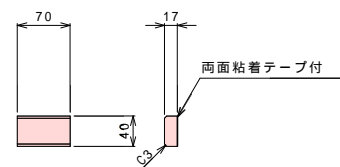
⑥ バッファ-B
(クロロレンゴム)



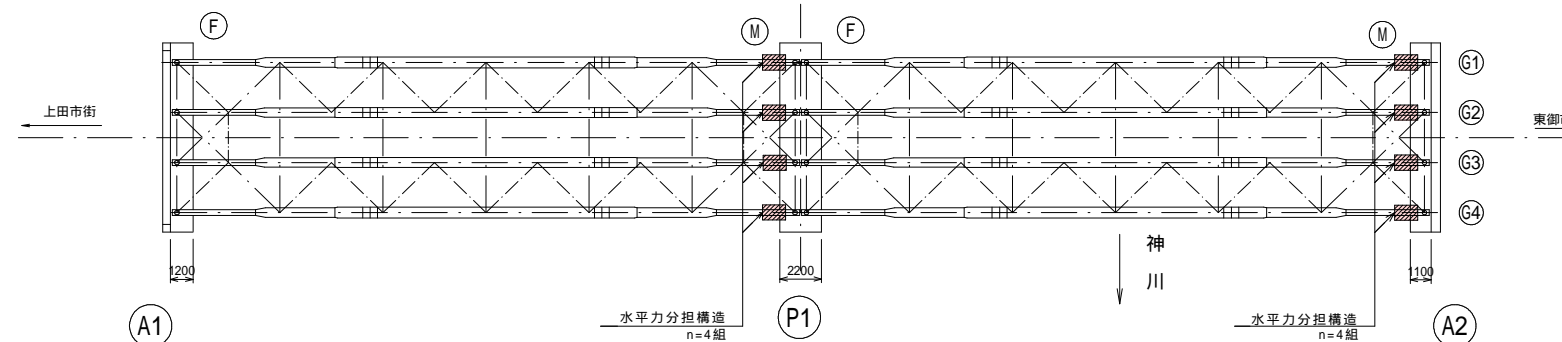
⑦ バッファ-ガイドB
(SUS)



④ バッファ-A
(クロロレンゴム)



配置図



注記)

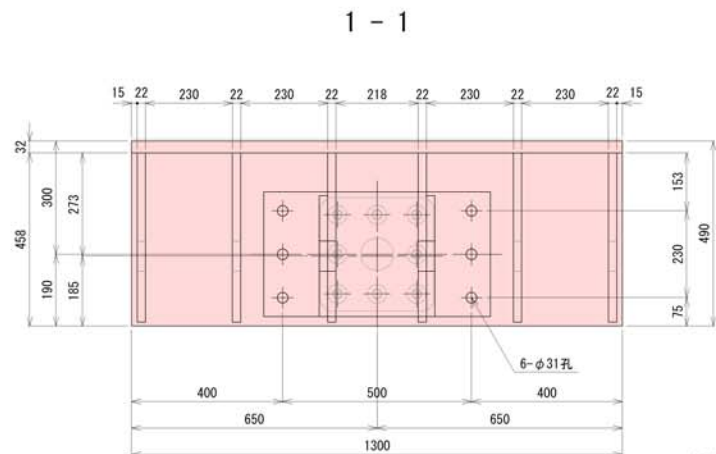
- SEリミッターの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高+10mm程度とする。
- 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
- 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。

国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番 号	9 / 14	落橋防止システム図 (その7)(参考図)	縮 尺 図 示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課 長	係 長	照 査	設 計
上 田 市			
設計会社	管理技術者		
測量会社	照査技術者		
調査会社	主任技術者		
	主任技術者		

落橋防止システム図(その8) (参考図) S=1:10

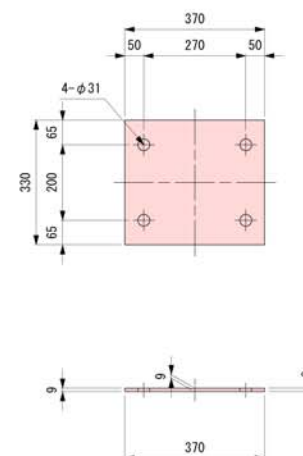
P1橋脚(終点側):水平力分担構造 取付金物詳細図

下部エブラケット詳細図



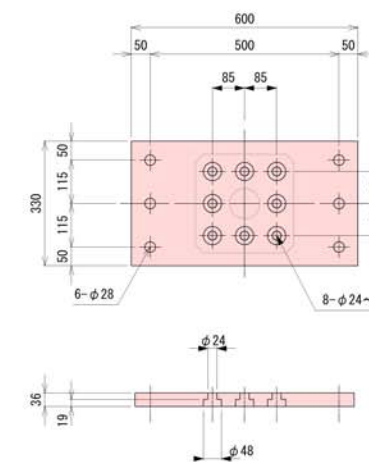
- ブラケット1基当り (製作数:4基)
- 1-PL 850x32x1300
 - 1-PL 458x36x1300 (SM400B)
 - 1-PL 200x22x1300
 - 6-PL 448x22x782
 - 2-PL 320x22x320

上部工取付プレート



- ブラケット1基当り (製作数:4基)
- 1-PL 370x9x330 (SS400)

下部工取付プレート

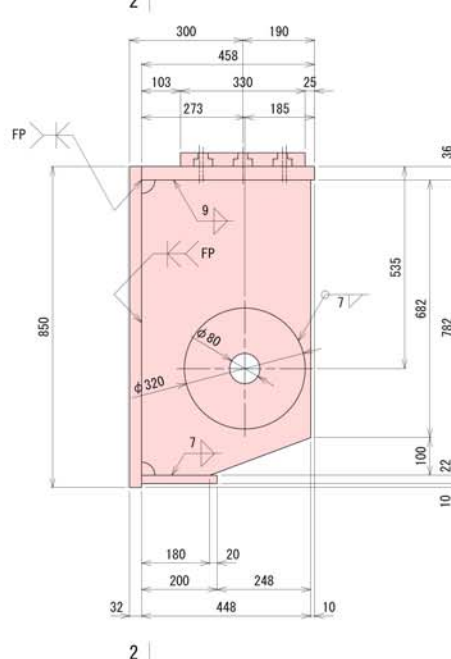
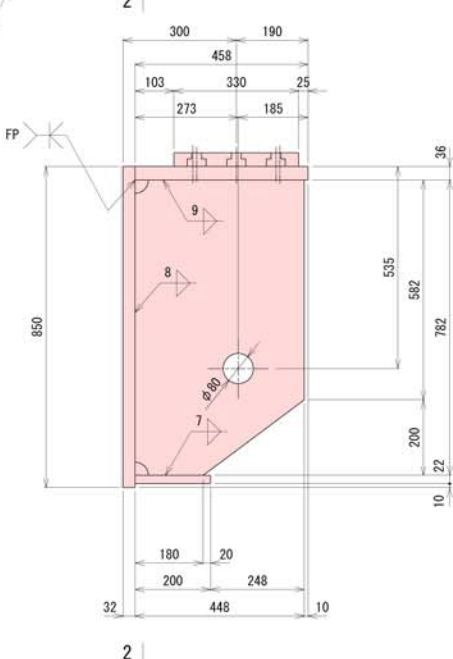
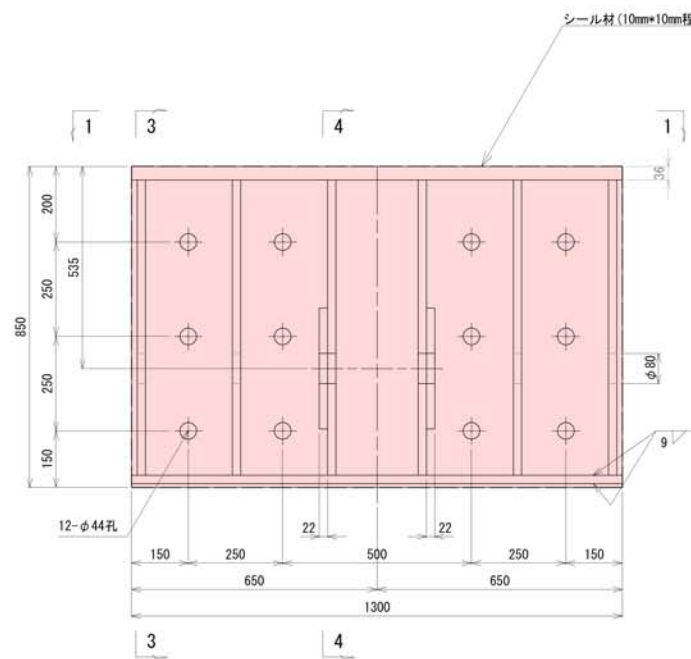


- ブラケット1基当り (製作数:4基)
- 1-PL 330x36x600 (SS400)
 - 6-六角Bolt M24x120 (強度区分8.8)
 - [1-N, 2-W, 1SW]

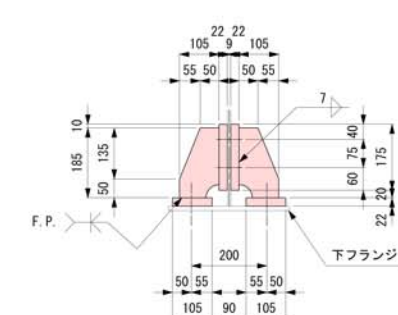
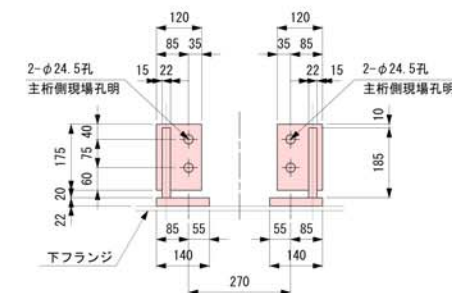
2-2

3-3

4-4



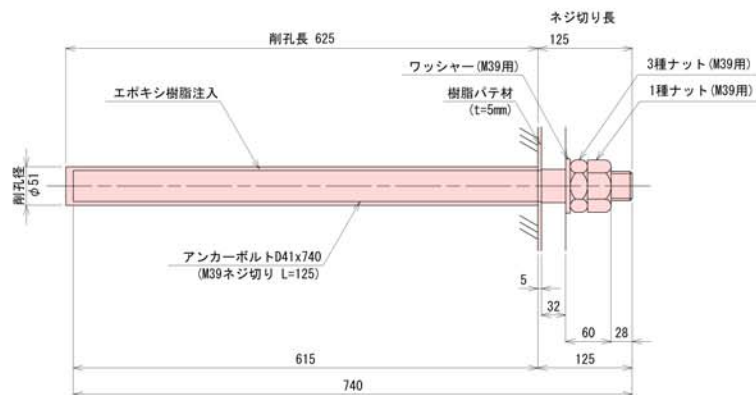
主桁補強材



- ブラケット1基当り (製作数:4基)
- 4-PL 140x22x105
 - 4-PL 105x22x185
 - 4-PL 120x22x175
 - 4-TCB M22x90 (S10T)

- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
 3. 主桁補強材以外の部材は全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
垂鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 4. 主桁補強材は、主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 5. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
 6. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し既設鉄筋は、切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

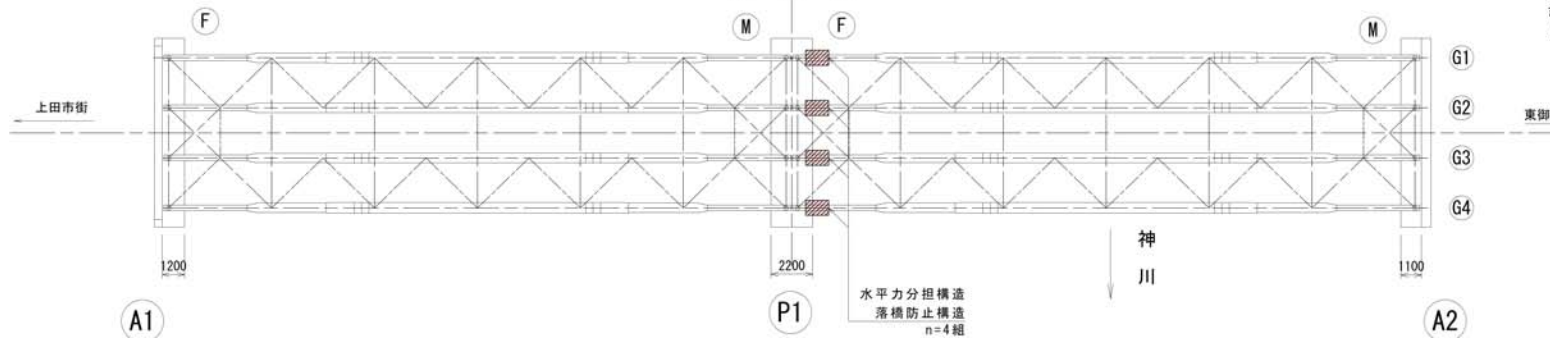
アンカーボルト詳細図 S=1:5



- ブラケット1基当り (製作数:4基)
- 12-AncBolt D41x740 (SD345)
 - 12-1種Nut M39用 (SS400)
 - 12-3種Nut M39用 (SS400)
 - 12-Washer M39用 (SS400)

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

配置図

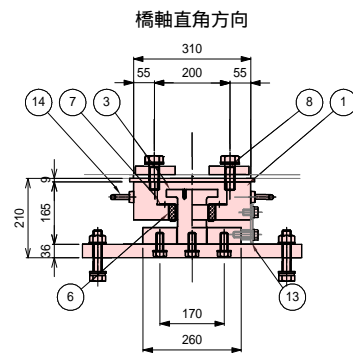
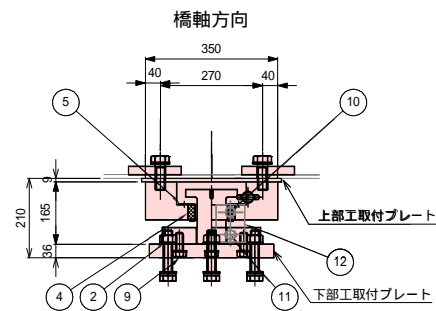


国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番号	10/14	落橋防止システム図(その8)(参考図)	縮尺 図示
上田市 古里(野竹) 川原柳豊豊線 神里橋			
課長	係長	調査	設計
上田市			
設計会社	管理技術者		
測量会社	照査技術者		
調査会社	主任技術者		

落橋防止システム図(その9)(参考図) S=1:10

P1橋脚(終点側):水平力分担構造 取付詳細図及び部品図

取付詳細図

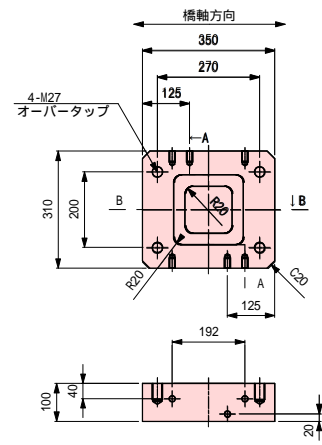


材料表(SEリミッター1基当たり)

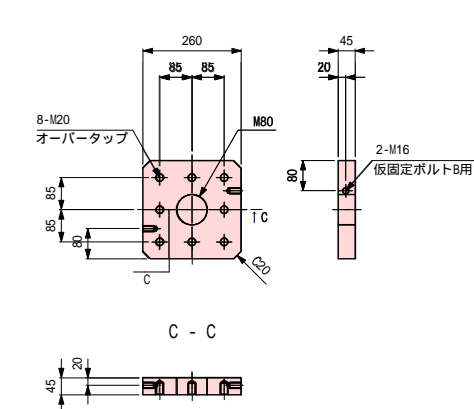
全4基

部番	名称	規格	単位	数量	備 考
1	ソールプレート	SEL-N560-0	個	1	SM490A;亜鉛アルミ溶射処理
2	リミットピンプレート	SEL-N560用	個	1	SM490A;亜鉛アルミ溶射処理
3	リミットピン	SEL-N560用	本	1	SCM435;ダクロタイト処理,DMコート
4	バッファ-A	SEL-N560用	個	2	クロロレンゴム
5	バッファ-ガイドA	SEL-N560用	個	2	SUS
6	バッファ-B	SEL-N560用	個	2	クロロレンゴム
7	バッファ-ガイドB	SEL-N560用	個	2	SUS
8	セットボルト(上側)	M27x 1W,1S付	組	4	強度区分8.8;亜鉛めっき(HDZ35)
9	セットボルト(下側)	M20x 1W付	組	8	強度区分8.8;亜鉛めっき(HDZ35)
納入時用部材					ボルトの首下長は、締め付ける板厚を確認の上決定すること。
10	仮固定ボルトA	M16x30 1W付	組	2	SS400相当品;電気めっき
11	仮固定ボルトB	M16x55 1W付	組	2	SS400相当品;電気めっき
12	仮固定プレート	SEL-N560用	個	2	SS400;電気めっき
13	スペーサー	SEL-N560用	個	2	SGP20A;溶融亜鉛めっき
14	アイボルト	M16	個	4	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZ35)

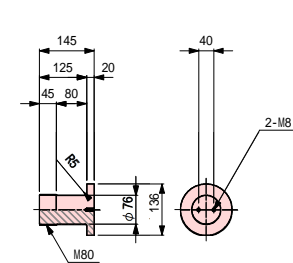
① ソールプレート (SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



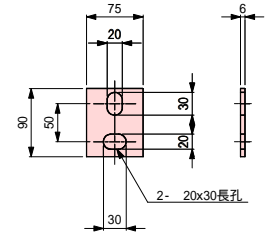
② リミットピンプレート (SM490A:亜鉛アルミ溶射処理)



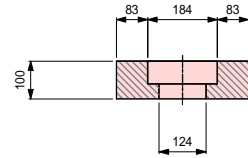
③ リミットピン (SCM435:DMコート)



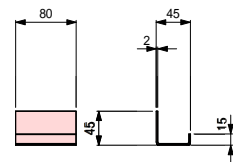
⑫ 仮固定プレート (SS400:電気めっき) S=1:5



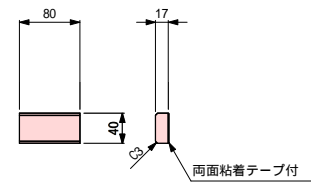
B - B



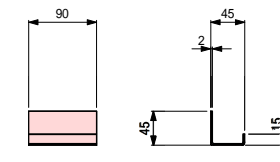
⑤ バッファ-ガイドA (SUS) S=1:5



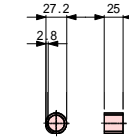
⑥ バッファ-B (クロロレンゴム) S=1:5



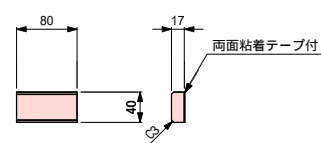
⑦ バッファ-ガイドB (SUS) S=1:5



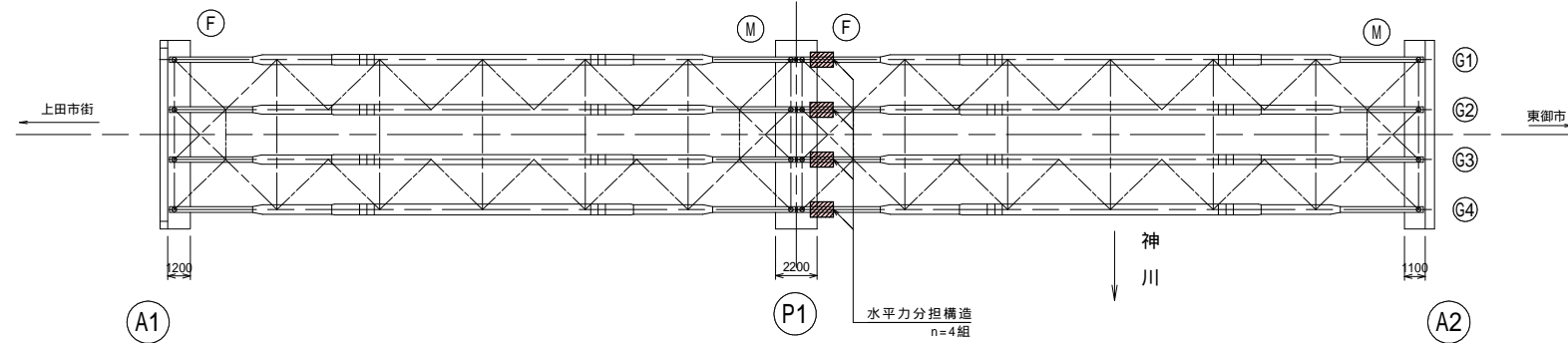
⑬ スペーサー (SGP20A:溶融亜鉛めっき) S=1:5



④ バッファ-A (クロロレンゴム) S=1:5



配置図



注記)

- SEリミッターの納入時組立高さは、取付詳細図に示す製品高-10mm程度とする。
- 据付時は仮固定ボルト他、納入時用部材を取り外し、所定の高さで設置すること。
- 納入時用部材を取り外した後のタップ孔は樹脂ボルトもしくはパテ材で埋めること。

国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番	11/14	落橋防止システム図(その9)(参考図)	縮尺 図示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	照査	設計
上 田 市			
設計会社	管理技術者		
	照査技術者		
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		

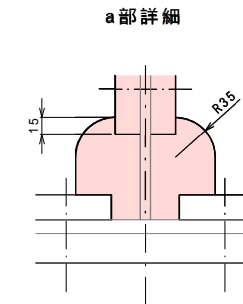
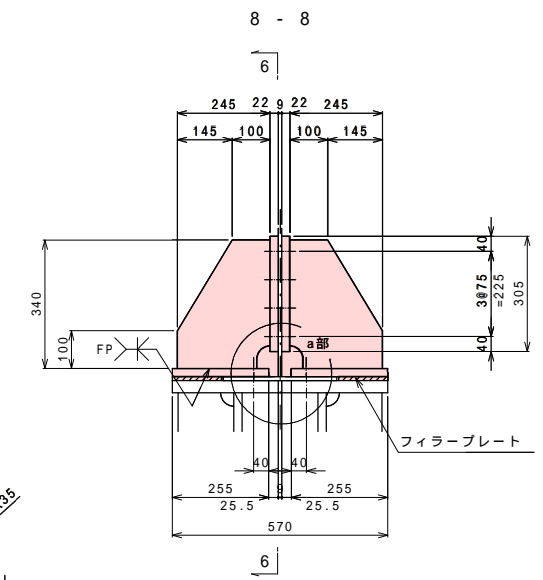
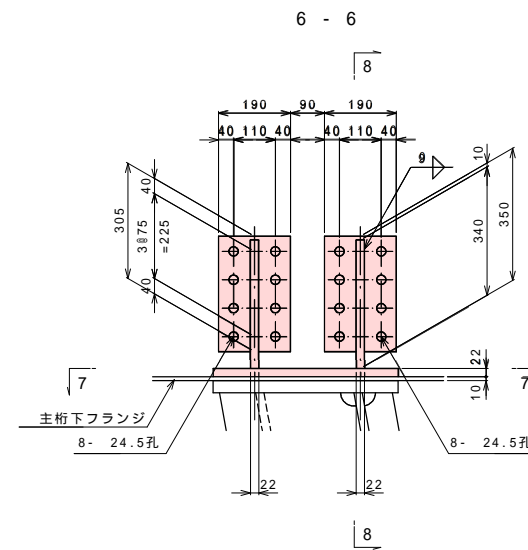
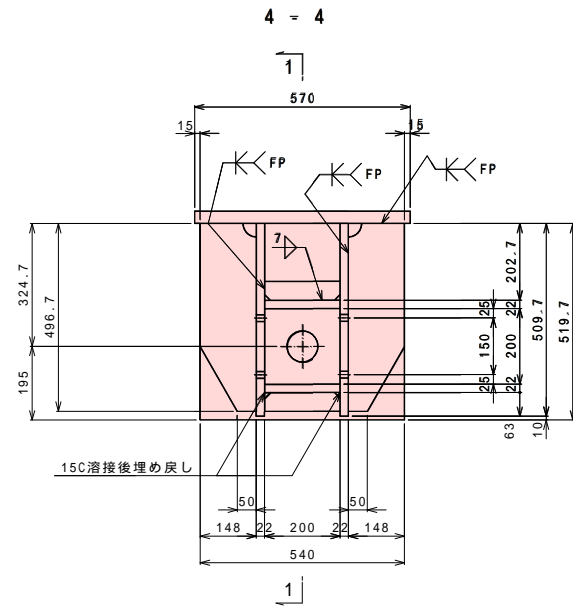
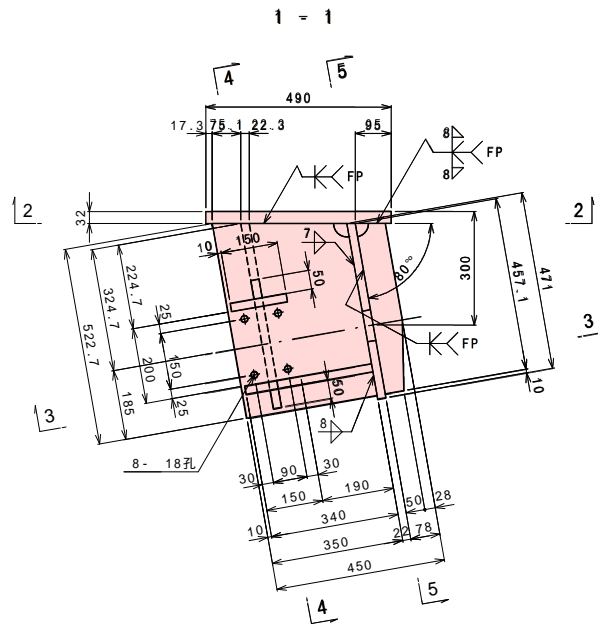
落橋防止システム図(その10)(参考図)

S=1:10

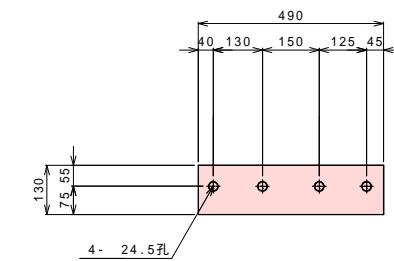
落橋防止構造 上部工ブラケット詳細図

ブラケット詳細図

桁補強詳細図



フィラープレート詳細図



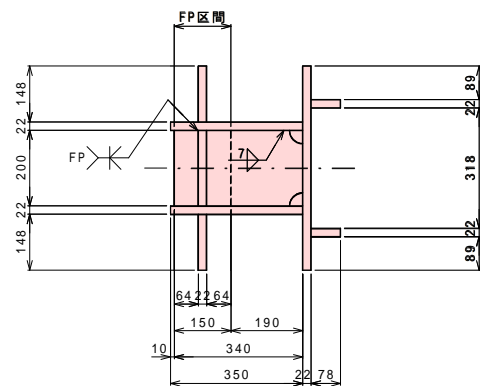
ブラケット1基当り(製作数:16基)

- 2-PL 255x22x490
- 4-PL 245x22x340
- 4-PL 190x22x305
- 16-TCB M22x90(S10T)
- 2-Fill PL 130x10x490(SS400)

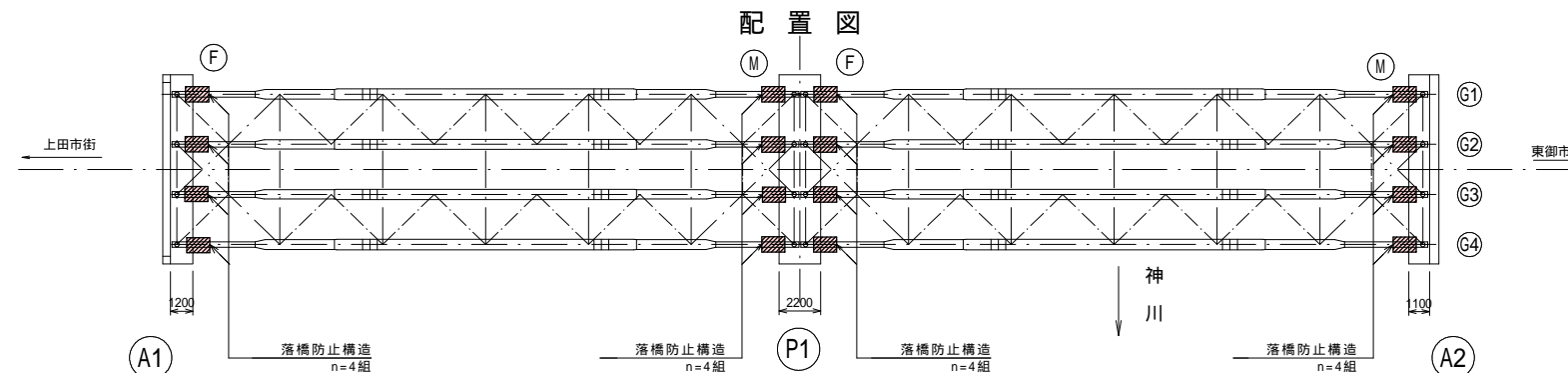
ブラケット1基当り(製作数:16基)

- 2-PL 78x22x458
- 2-PL 350x22x523
- 2-PL 148x22x497
- 2-PL 50x22x200
- 1-PL 200x22x340
- 1-PL 150x22x200
- 1-PL 471x22x540
- 1-PL 490x32x570
- 8-TCB M22x105(S10T)[+1W]
- 8-TCB M22x100(S10T)

3-3



配置図



注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 上部工ブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. 高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。

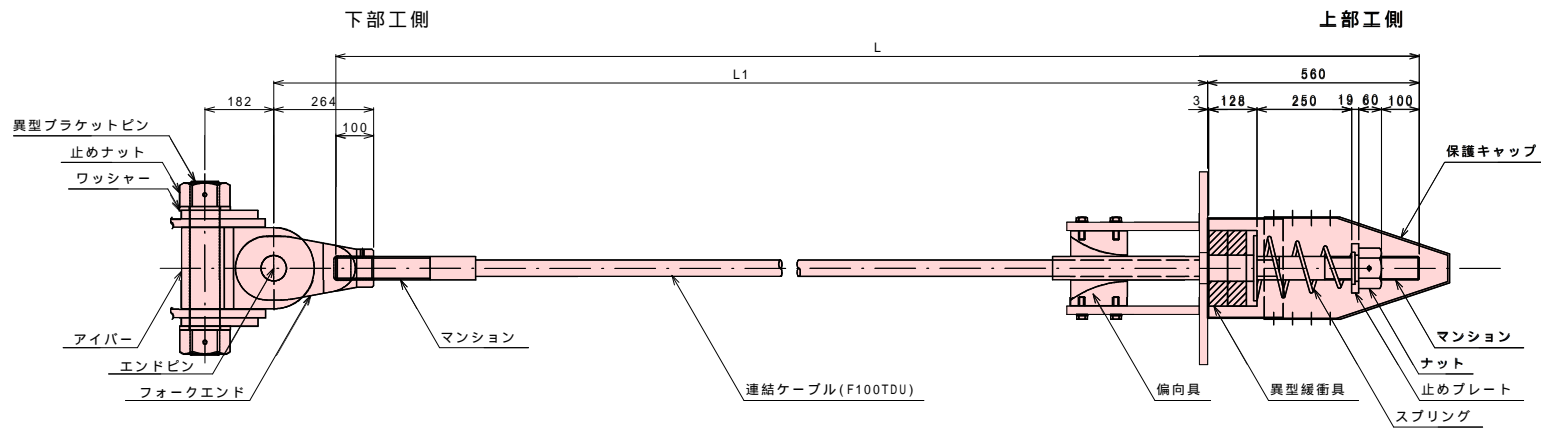
国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番	12/14	落橋防止システム図(その10)(参考図)	縮尺 図示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	照査	設計
上田市			
設計会社	管理技術者		
測量会社	照査技術者		
調査会社	主任技術者		
	主任技術者		

落橋防止システム図(その11)

落橋防止構造 取付詳細図及び部品図

S=1:10

取付詳細図



材料表 (落橋防止構造1組当たり)

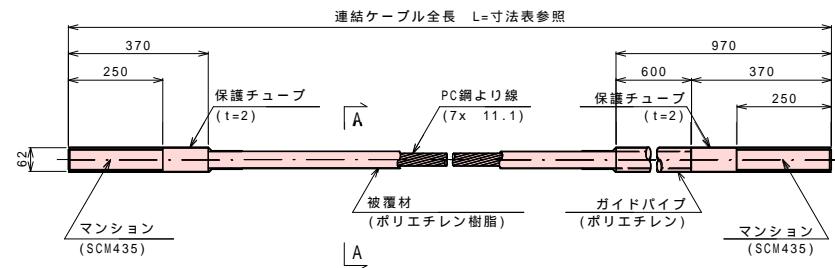
全16組(4組/箇所)

名称	規格	単位	数量	摘要
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	F100TDU L=寸法表参照	本	1	PC鋼より線, ポリエチレン被覆
	F100TDU 標準	個	2	SCM435, ネジきり標準 <ケーブルに組込>
	F100TDU用 600mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	F100TDU用	個	1	S45C; 亜鉛めっき (HDZ55)
止めプレート	F100TDU用	個	1	SS400; 亜鉛めっき (HDZ55)
スプリング	F100TDU用 L=400	個	1	SW-C; 亜鉛めっき, クロメート処理
異型緩衝具	F100TDU用	個	1	SS400; 亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	F100TDU用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	F100TDU用	組	1	ポリエチレン; 8-止めビス付
異型ブラケットピン	F100TDU用	本	1	SCM435, ダクロダイズド処理, DMコート
止めナット	F100TDU用	個	2	S45C; 亜鉛めっき (HDZ55)
ワッシャー	F100TDU用	個	2	SS400; 亜鉛めっき (HDZ55)
アイバー	F100TDU用	個	1	S45C; 亜鉛めっき (HDZ55)
フォークエンド	F100TDU用	個	1	S45C; 亜鉛めっき (HDZ55)
エンドピン (ピン)	F100TDU用	本	1	SCM435, ダクロダイズド処理, DMコート
(止めプレート)	F100TDU用	個	1	SS400; 亜鉛めっき

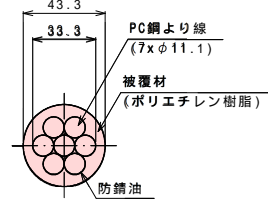
寸法表

	L	L1
A1橋台	2562	2166
P1橋脚	起点側	2704
	終点側	2785
A2橋台	2653	2257

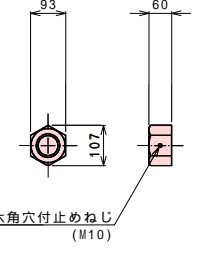
連結ケーブル



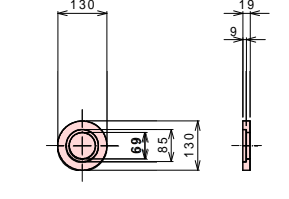
A-A断面図 S=1:2



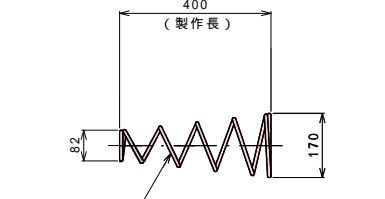
ナット (S45C; 亜鉛めっき)



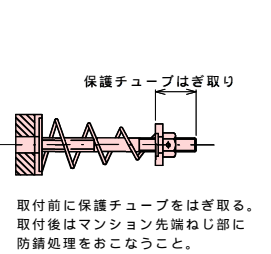
止めプレート (SS400相当品; 亜鉛めっき)



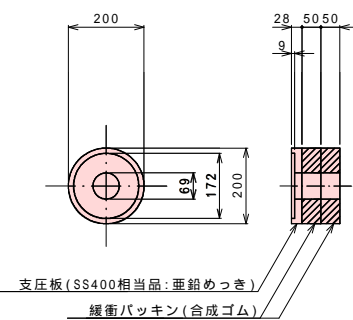
スプリング (SW-C; 亜鉛めっき, クロメート処理)



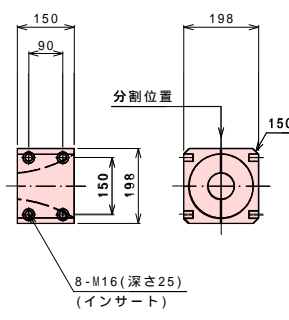
マンション端部処理



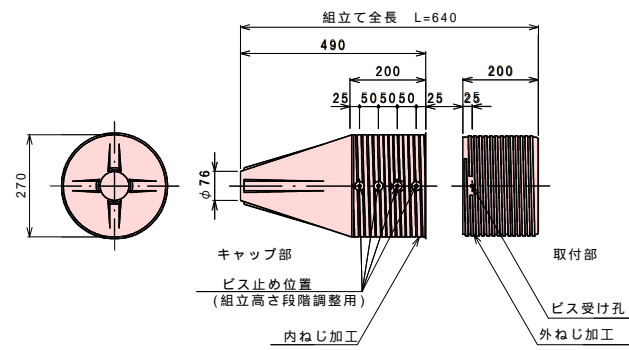
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



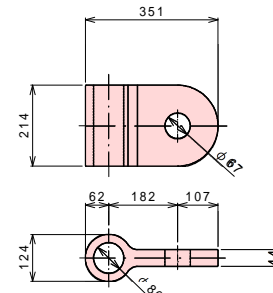
偏向具 (ポリエチレン)



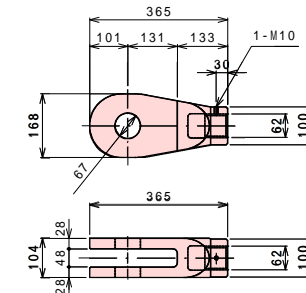
保護キャップ (ポリエチレン)



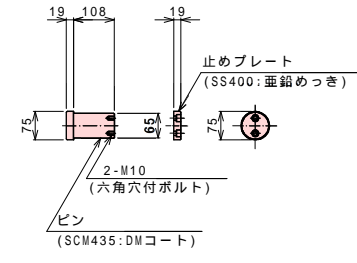
アイバー (S45C; 亜鉛めっき)



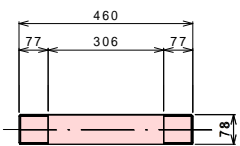
フォークエンド (S45C; 亜鉛めっき)



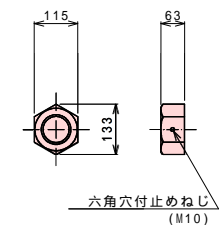
エンドピン (ピン+止めプレート)



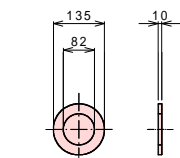
異型ブラケットピン (SCM435; DMコート)



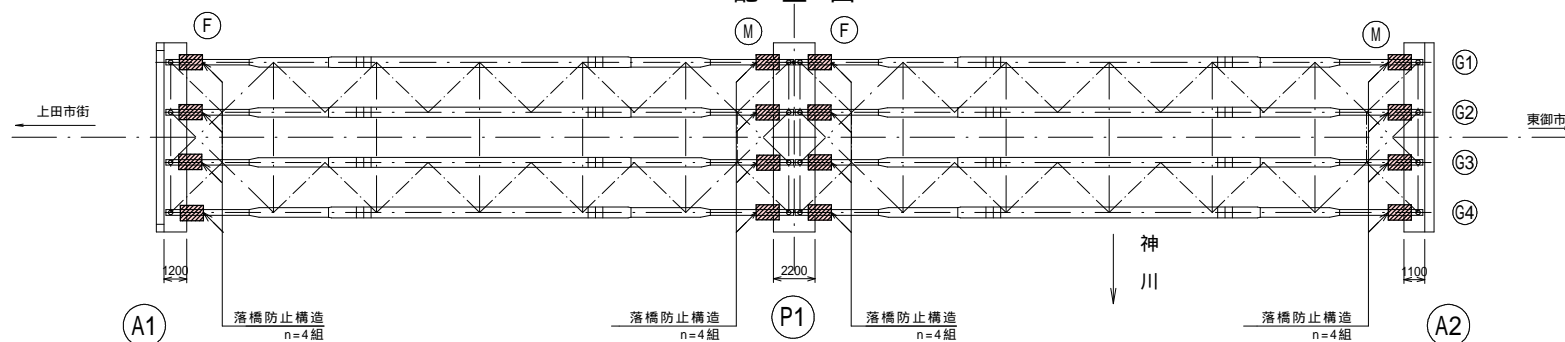
止めナット (S45C; 亜鉛めっき)



ワッシャー (SS400; 亜鉛めっき)



配置図



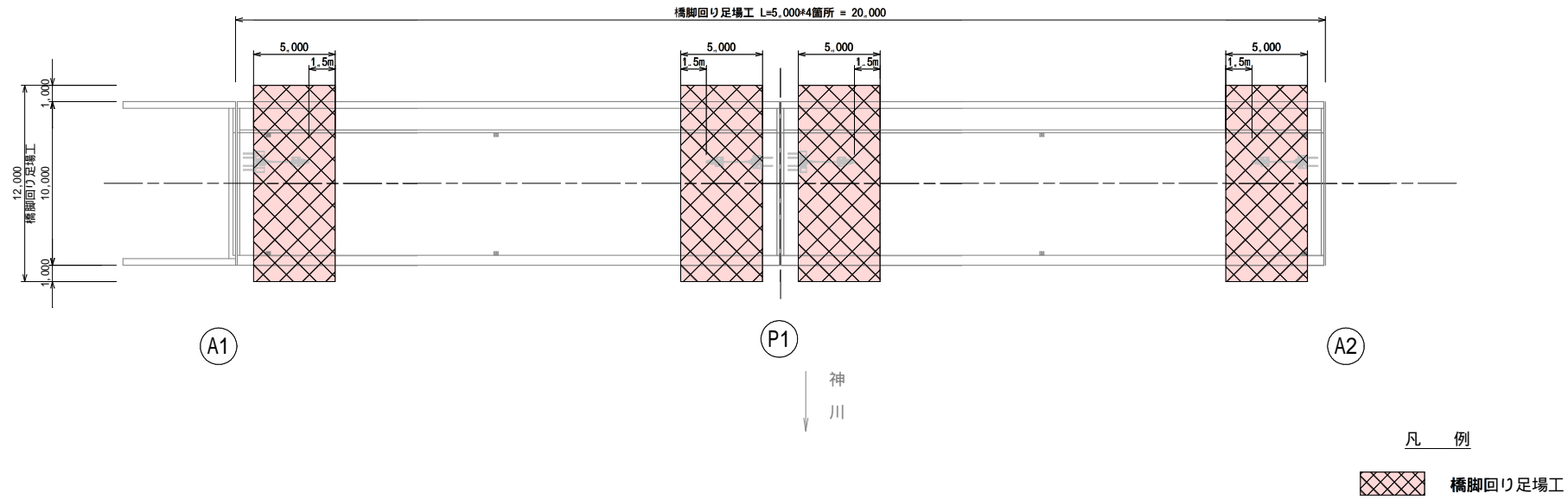
注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番	13	14	落橋防止システム図 (その11)(参考図)
縮尺	図示		
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	照査	設計
上田市			
設計会社	管理技術者		
	照査技術者		
測量会社	主任技術者		
調査会社	主任技術者		

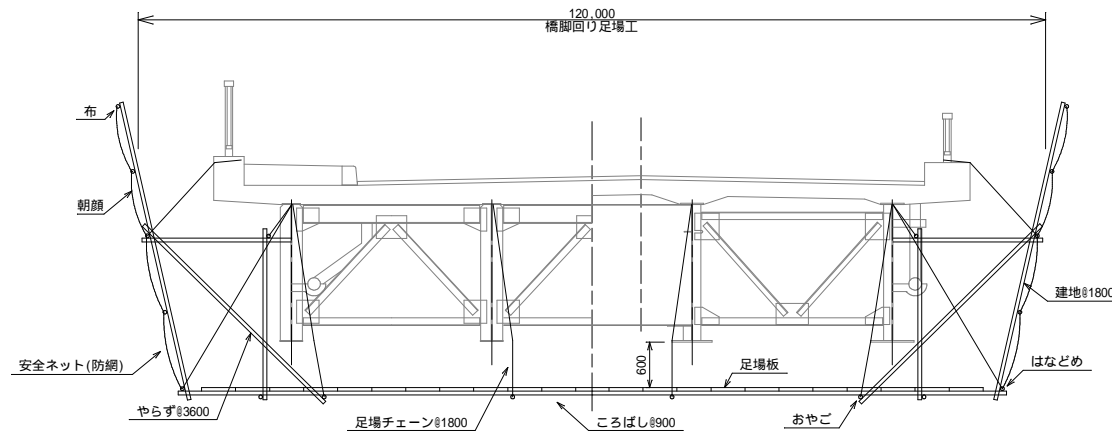
神里橋 仮設工参考図

足場工

平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



国補 道路メンテナンス事業 橋梁修繕工事(神里橋)			
番号	14/14	仮設工参考図	縮尺 図示
上田市 古里(野竹)			
川原柳豊里線 神里橋			
課長	係長	照査	設計
上田市			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

位置図



野竹トンネル



施工箇所

川原柳豊里線(浅間サンライン)

縮尺 1 : 7500

